

令和3年度県内企業海外展開状況調査報告書

2021（令和3）年12月

鳥取県

はじめに

鳥取県では、平成 28 年度から毎年度、県内企業の海外展開の現状、課題、今後の動向等に係る最新状況の把握を目的として、「県内企業海外展開状況調査」を実施しています。

本調査報告書は、令和 3 年度に実施した調査において、県内企業の皆さまから御回答いただいた内容を報告書としてとりまとめたものです。

今年度の調査結果では、輸出・輸入、海外進出・展開といった国際取引について「実績又は計画がある」と回答した企業は、全体の 37.0%であり、昨年度（37.4%）と比較するとほぼ横ばい、一昨年度（32.3%）と比較すると 4.7 ポイントの伸びとなりました。

2020 年 1 月以降、2 年近く新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続いていることを踏まえると、県内企業の海外展開に対する意欲はコロナ前と比較しても衰えておらず、むしろ高く保たれている状況であると理解できます。

貿易（輸出）の状況については、貿易相手国・地域は昨年度同様「中華人民共和国」、「台湾」及び「香港」等のアジア圏を回答した企業が多く、県内企業のアジア地域との経済関係の緊密さを示す結果となりました。また、輸出品目についても昨年度同様、「食品」及び「機械・金属」を回答した企業が多く、他の品目を大きく上回る結果となりました。

貿易（輸入）の状況については、貿易相手国・地域は昨年度同様「中華人民共和国」、「ベトナム社会主義共和国」及び「台湾」等のアジア圏を回答した企業が多く、輸入品目についても昨年度同様、「機械・金属」及び「木材・製紙」を回答した企業が多い結果となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、約 30%の企業が「悪い影響があった」と回答しており、多数の企業が「販路の見直し」や「物流ルートの見直し」等を迫られたことが明らかになりました。今後このような国際経済情勢の急激な変化にも対応しながら、海外需要の獲得を目指す企業の取組への支援が一層必要であると考えています。

また、今年度の調査では、海外展開におけるオンラインの活用状況についても調査しました。回答があった企業のうちオンラインを活用している企業は約 18%であり、2 割にも達していない状況です。具体的な活用方法としては、「WEB 商談・会議」が最も多い一方で、世界的に市場拡大が続く EC サイト（越境 EC を含む）の活用は十分に進んでいないことから、引き続き県内企業に対して EC サイトなど、更なるオンライン活用による海外需要の獲得を推進していきたいと考えています。

本調査において県内企業の皆さまから御回答いただいた内容については、今後、本県の海外展開支援施策へ反映させていただくとともに、引き続き鳥取県、公益財団法人鳥取県産業振興機構とっとり国際ビジネスセンター、独立行政法人日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター及び境港貿易振興会とが連携協力しながら、県内企業の皆さまの海外展開支援を行って参ります。

本調査報告書が、県内企業の皆さま並びに本県において貿易や投資等、国際ビジネスに関わる関係者の皆さまの一助となれば幸いです。

結びになりますが、御多忙の中、本調査への回答に御協力くださった県内企業の皆さまに心から御礼を申し上げます。

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
(1) 調査時期	3
(2) 調査対象	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査項目及び調査対象期間	3
(5) 有効回答数	3
(6) 回答率	3
(7) 調査業務の委託	3
3 本調査報告書の留意点	3

II 調査結果の概要

1 国際取引の実績や計画の状況	7
2 貿易（輸出）の状況	7
(1) 輸出の実績及び今後の計画の有無	7
(2) 輸出額が大きい上位3カ国・地域	8
(3) 輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出品目	8
(4) 輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出形態	9
(5) 新規輸出計画に係る輸出先（国・地域）	9
3 貿易（輸入）の状況	9
(1) 輸入の実績及び今後の計画の有無	9
(2) 輸入額が大きい上位3カ国・地域	10
(3) 輸入額が大きい上位3カ国・地域からの輸出品目	10
(4) 輸入額が大きい上位3カ国・地域からの輸入形態	11
(5) 新規輸入計画に係る輸入先（国・地域）	11
4 海外進出・展開事業の状況	12
(1) 海外進出・展開先の主な国・地域	12
(2) 海外進出・展開事業の主な取扱製品・サービス	12
(3) 海外進出・展開事業の形態	13
(4) 海外進出・展開事業の実施年	13
(5) 今後の新規海外進出・展開計画の進出・展開先	13
5 新型コロナウイルス感染症による影響等	14
(1) 新型コロナウイルス感染症による海外進出事業への影響の有無	14
(2) 悪い影響に対して講じた対応策	15
(3) 海外展開におけるオンラインの活用の有無	15
(4) 海外展開におけるオンラインの活用の有無	16

III 調査結果

1 国際取引の実績・計画の状況	19
(1) 国際取引の実績及び今後の計画の有無	19
(2) 「国際取引の実績及び計画がない」企業の理由	20
(3) 「国際取引に関心はあるが、実績及び計画がない」企業の理由	21
2 貿易（輸出）の状況	22
(1) 輸出の実績及び今後の計画	22
(2) 2020年（1～12月）の輸出実績（輸出額が大きい上位3ヵ国・地域）	23
ア 輸出先	
イ 輸出品目	
ウ 輸出形態	
エ 輸出の際に利用した港湾・空港	
オ 輸出の際に利用した港湾・空港の利用理由	
カ 輸出の際に利用した港湾・空港の利用頻度	
キ 貨物量	
(3) 輸出における課題、必要とする支援策	30
ア 輸出を行った際に感じた課題	
イ 輸出を行う際に必要とする支援策	
(4) 今後の新規輸出計画	32
ア 新規輸出計画に係る輸出先	
イ 新規輸出計画に係る輸出品目	
3 貿易（輸入）の状況	34
(1) 輸入の実績及び今後の計画	34
(2) 2020年（1～12月）の輸入実績（輸入額の大きい上位3ヵ国・地域）	35
ア 輸入先	
イ 輸入品目	
ウ 輸入形態	
エ 輸入の際に利用した港湾・空港	
オ 輸入の際に利用した港湾・空港の利用理由	
カ 輸入の際に利用した港湾・空港の利用頻度	
キ 貨物量	
(3) 輸入における課題、必要とする支援策	42
ア 輸入を行った際に感じた課題	
イ 輸入を行う際に必要とする支援策	
(4) 今後の新規輸入計画	44
ア 新規輸入計画に係る輸入先	
イ 新規輸入計画に係る輸入品目	
4 海外進出・展開事業の状況	46
(1) 海外進出・展開事業の実績及び今後の予定	46
(2) 現在実施している海外進出・展開事業の状況	47
ア 海外進出・展開先の主な国・地域	

イ	海外進出・展開事業の形態	
ウ	海外進出・展開事業の形態	
エ	海外進出・展開事業の派遣職員数	
オ	海外進出・展開事業の主な取扱製品・サービス	
(3)	海外進出・展開事業における課題、必要とする支援策	52
ア	海外進出・展開事業を実施した際に感じた課題	
イ	海外進出・展開事業を実施する際に必要とする支援策	
(4)	今後の新規海外進出・展開計画	54
ア	新規海外進出・展開先	
イ	新規海外進出・展開計画の進出・展開形態	
5	新型コロナウイルス感染症による影響、海外展開におけるオンラインの活用状況	56
(1)	新型コロナウイルス感染症による影響	56
ア	海外進出事業への影響	
イ	悪い影響に対して講じた対応策	
(2)	海外展開におけるオンラインの活用状況	58
ア	海外展開におけるオンライン活用の有無	
イ	海外展開におけるオンライン活用の方法	
ウ	オンラインによる海外展開先	
エ	オンラインによる海外展開を進める上での課題・必要な支援策	
6	海外展開において利用する支援機関	62

IV 調査票

調査票	63
-----	----

I 調査の概要

1 調査の目的

鳥取県は、県内貿易支援機関（鳥取県、公益財団法人鳥取県産業振興機構、独立行政法人日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター、境港貿易振興会）による県内企業に対する海外展開支援の基礎資料とするため、海外展開状況等に関する調査を実施している。

2 調査の概要

(1) 調査時期

2021（令和3）年6月

(2) 調査対象

鳥取県内に事業所を有する企業（712社）

(3) 調査方法

調査対象企業宛てに調査票を郵送で送付し、郵送又は電子メールにより回収した。

(4) 調査項目及び調査対象期間

調査項目	調査対象期間
国際取引の実績・計画の状況	2021（令和3）年6月時点
貿易（輸出）の状況	2020（令和2）年1月～12月
貿易（輸入）の状況	2020（令和2）年1月～12月
海外進出・展開事業の状況	2021（令和3）年6月時点
新型コロナウイルス感染症による影響等	2021（令和3）年6月時点

(5) 有効回答数

249社

(6) 回答率

35.0%

(7) 調査業務の委託

調査票の発送・回収、データ入力、集計等の作業を有限会社アクティブ・プロ（鳥取県米子市夜見町1895-3）へ委託して実施した。

3 本調査報告書の留意点

本調査における貿易（輸出・輸入）の状況については、各企業において貿易額（輸出額・輸入額）が大きい上位3カ国・地域について回答を得たものを集計しているため、集計結果は全て件数表示とした。

また、海外進出・展開事業の状況についても、各企業において主要なもの2つ以内について回答を得ているため、集計結果は全て件数表示とした。

そのため、これらの集計結果における百分率（各表中に記載）は、便宜的に回答件数の合計値を基に算出している。

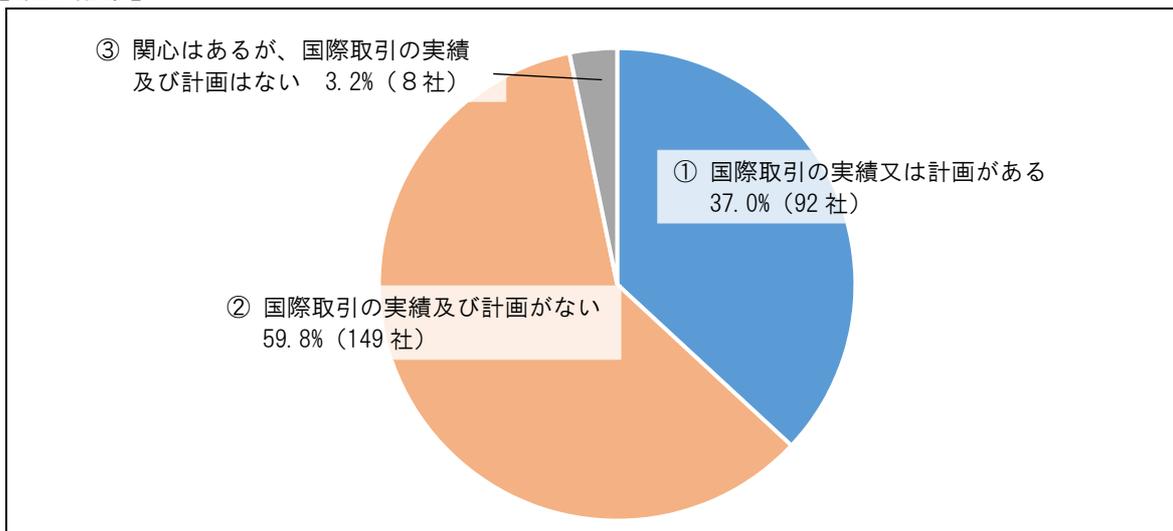
Ⅱ 調査結果の概要

1 国際取引の実績や計画の状況

本調査に対して回答があった249社のうち、輸出・輸入、海外進出・展開といった何らかの国際取引について「実績又は計画がある」と回答した企業は92社(37.0%)、「関心はあるが、国際取引の実績及び計画はない」と回答した企業は8社(3.2%)だった。

これら「国際取引の実績又は計画がある」又は「国際取引に関心がある」企業は、合計100社であり、全体の約40%を占めた。

【集計結果】

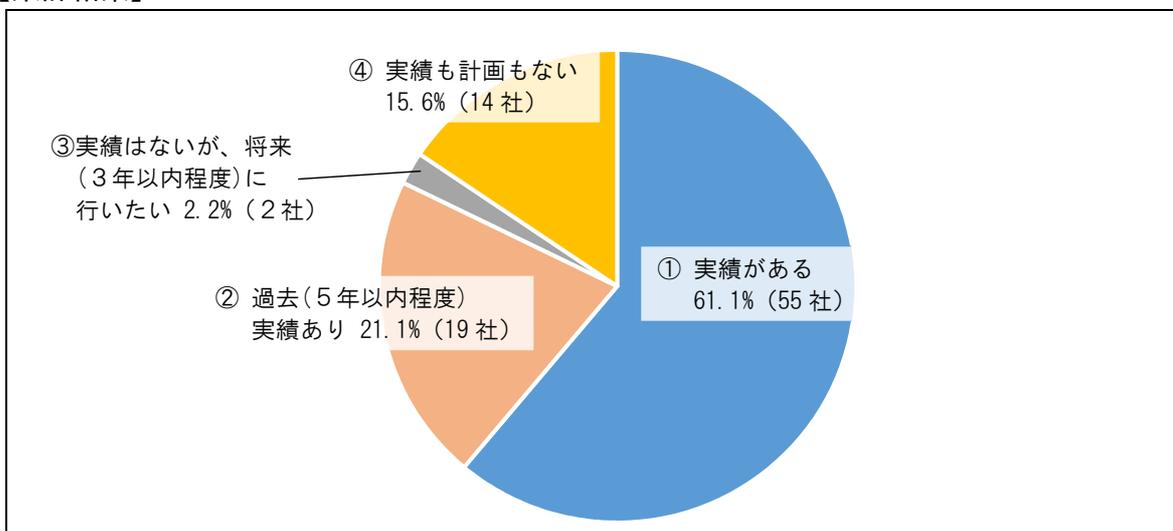


2 貿易（輸出）の状況

(1) 輸出の実績及び今後の計画の有無

「国際取引の実績又は計画がある」と回答した92社のうち、2020年の輸出実績の有無及び今後の予定について90社から回答があり、「実績がある」と回答した企業は55社(61.1%)、「実績はないが、将来(3年以内程度)に行いたい」は回答した企業は2社(2.2%)だった。

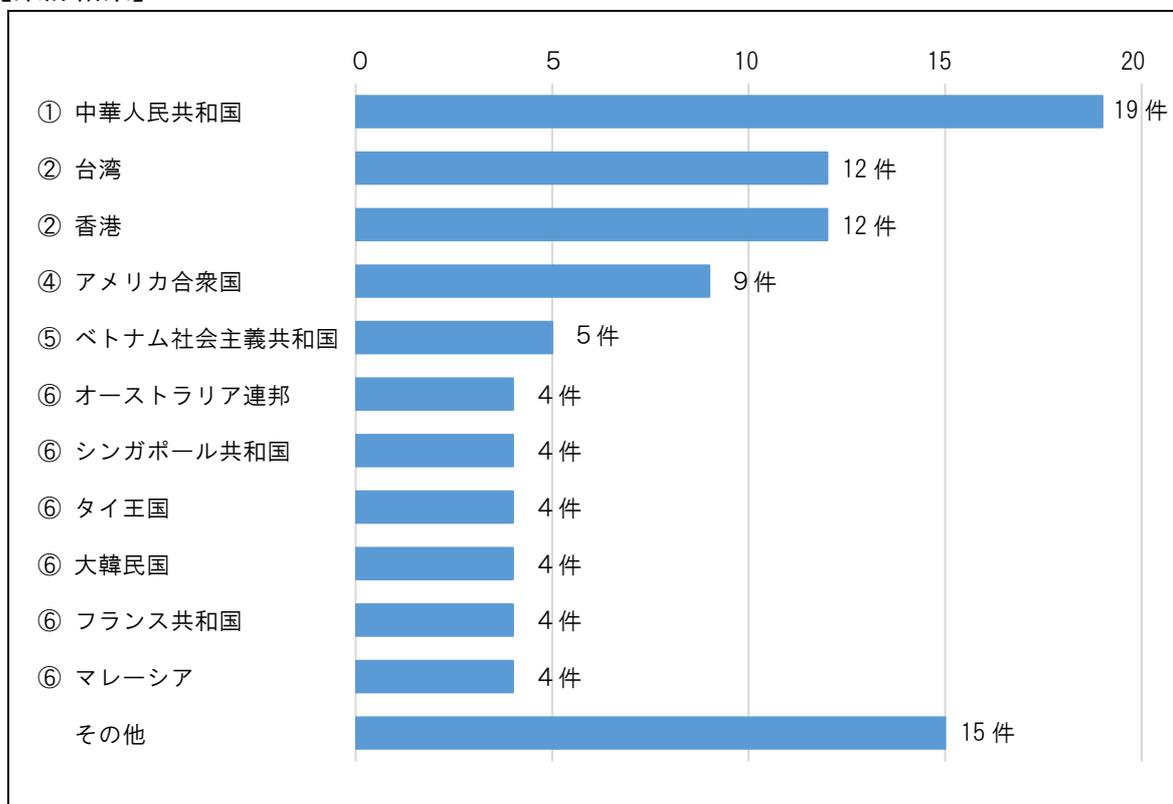
【集計結果】



(2) 輸出額が大きい上位3カ国・地域

「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3カ国・地域を尋ねたところ、「中華人民共和国」が最も多く19件、次いで「台湾」及び「香港」がそれぞれ12件の順だった。

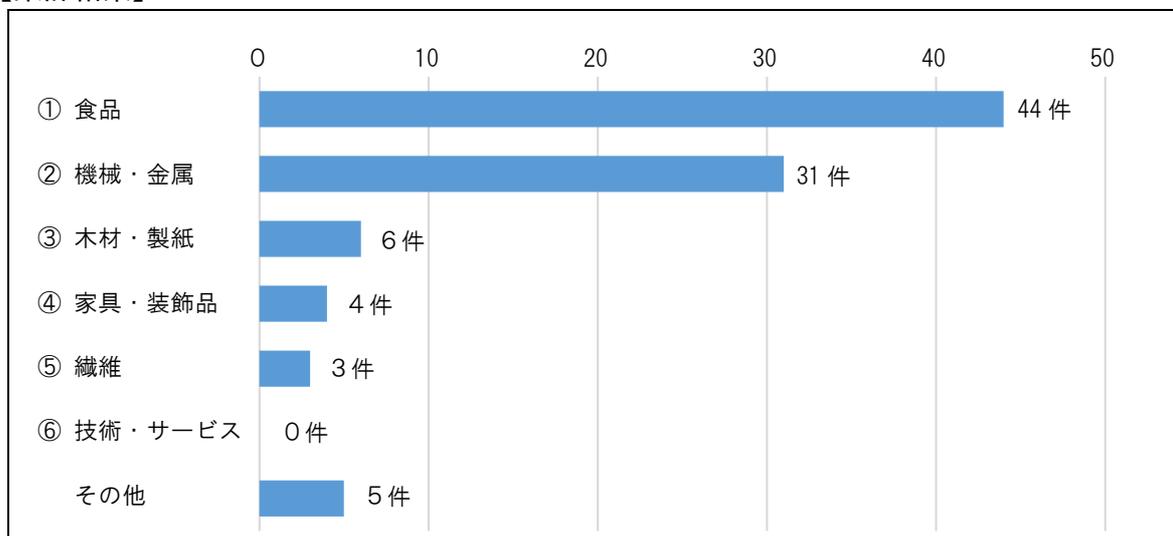
【集計結果】



(3) 輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出品目

「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出品目を尋ねたところ、「食品」との回答が最も多く44件、次いで「機械・金属」が31件、「木材・製紙」が6件の順だった。

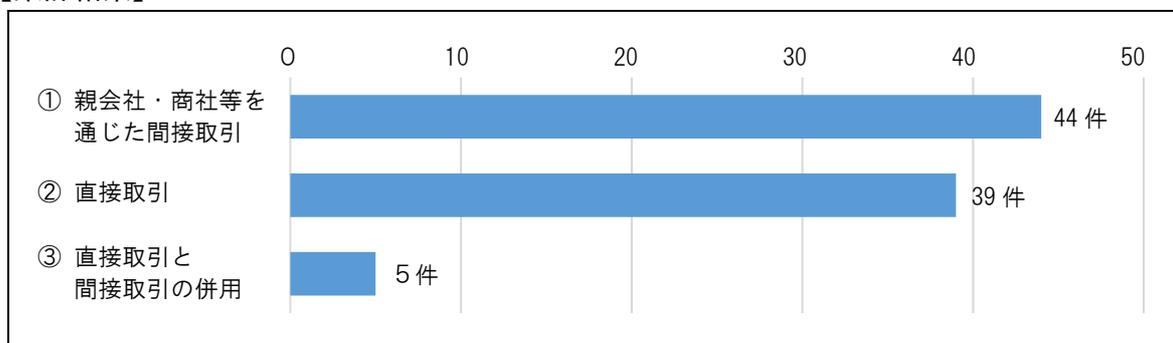
【集計結果】



(4) 輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出形態

「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出形態を尋ねたところ、「親会社・商社等を通じた間接取引」が最も多く44件、次いで「直接取引」が39件、「直接取引と間接取引の併用」が5件の順だった。

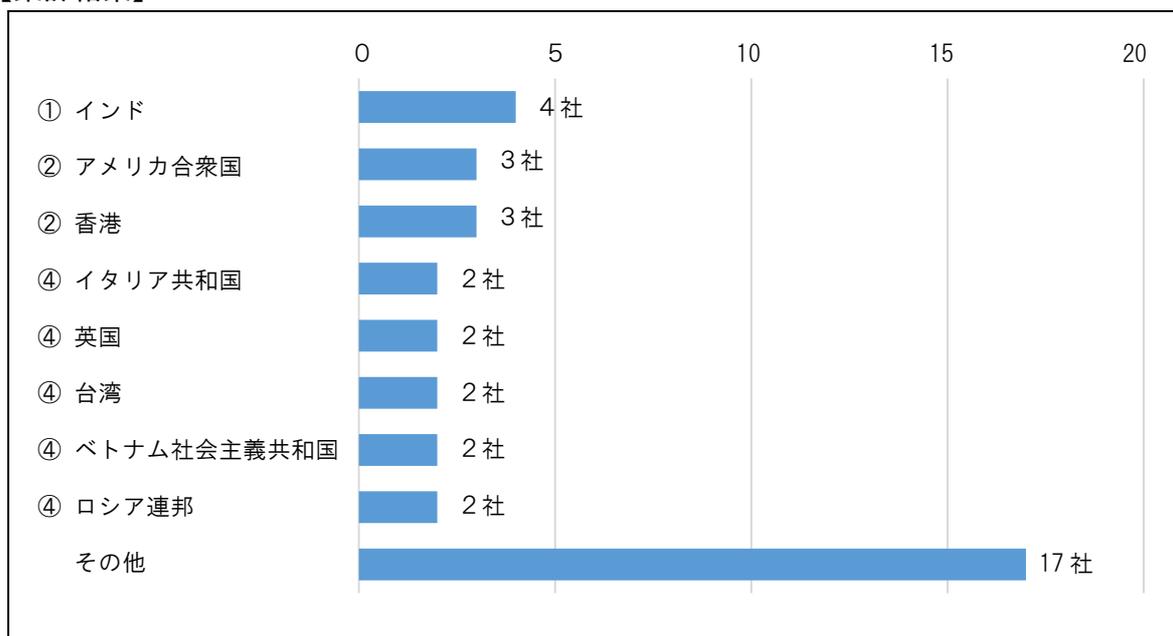
【集計結果】



(5) 新規輸出計画に係る輸出先（国・地域）

「2020年に輸出実績がある」及び「過去に輸出実績がある」と回答した74社に対して、今後の新規輸出計画に係る輸出先（3つ以内）を尋ねたところ、「インド」が最も多く4社、次いで「アメリカ合衆国」及び「香港」がそれぞれ3社の順だった。

【集計結果】

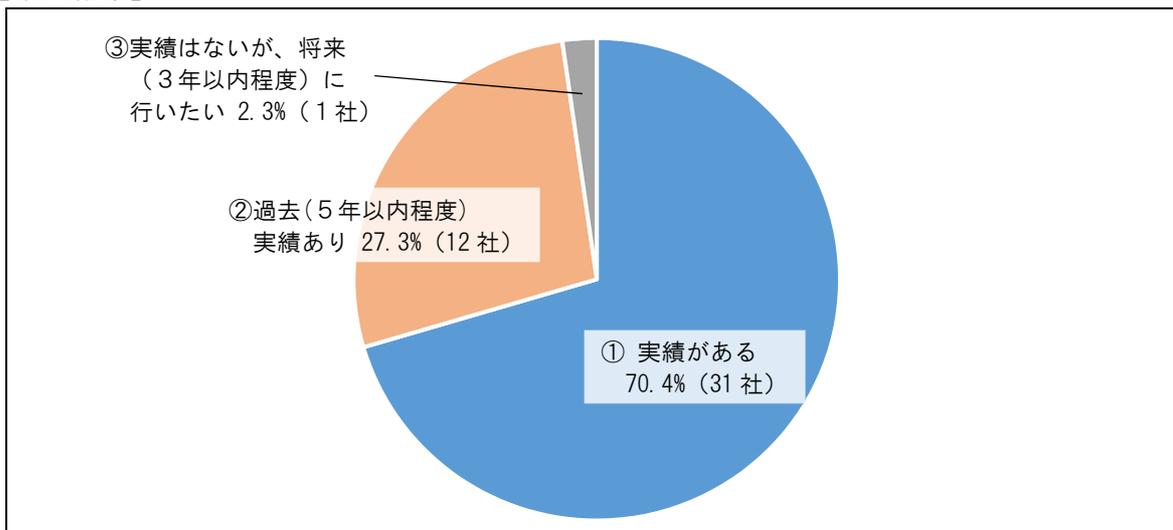


3 貿易（輸入）の状況

(1) 輸入の実績及び今後の計画の有無

「国際取引の実績又は計画がある」と回答した92社のうち、2020年の輸入実績の有無及び今後の予定について44社から回答があり、「実績がある」と回答した企業は31社（70.4%）、「実績はないが、将来（3年以内程度）に行いたい」と回答した企業は1社（2.3%）だった。

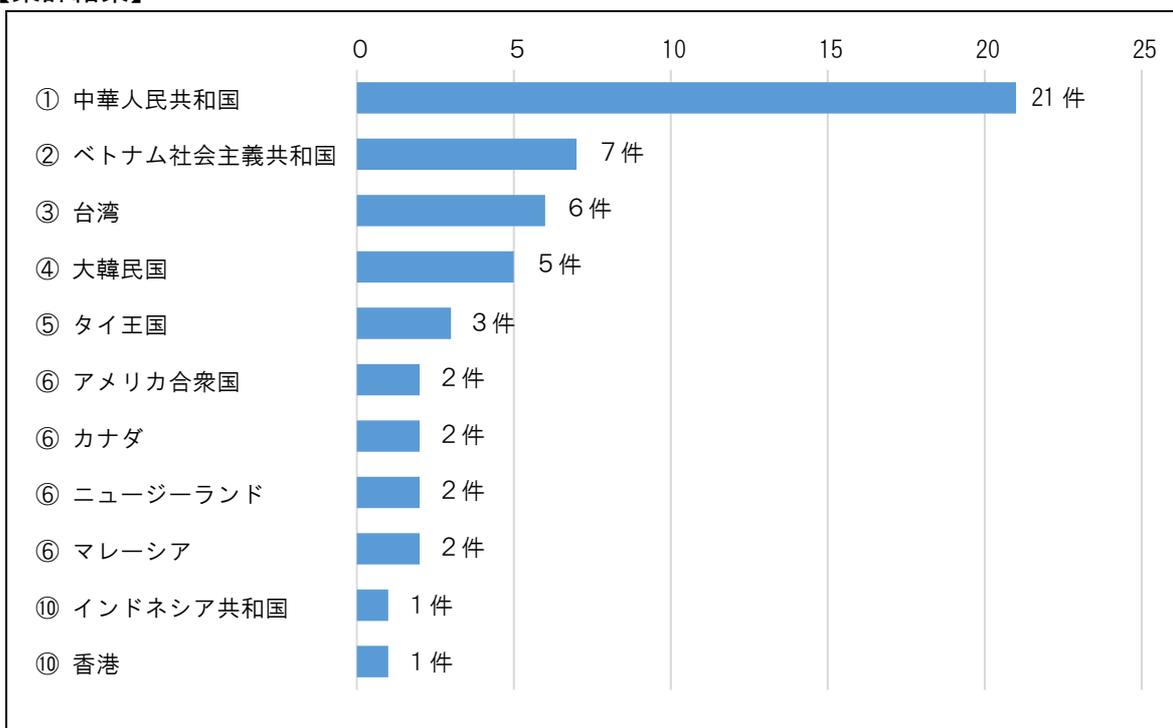
【集計結果】



(2) 輸入額が大きい上位3ヵ国・地域

「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額が大きい上位3ヵ国・地域を尋ねたところ、「中華人民共和国」が最も多く21件、次いで「ベトナム社会主義共和国」が7件、「台湾」が6件の順だった。

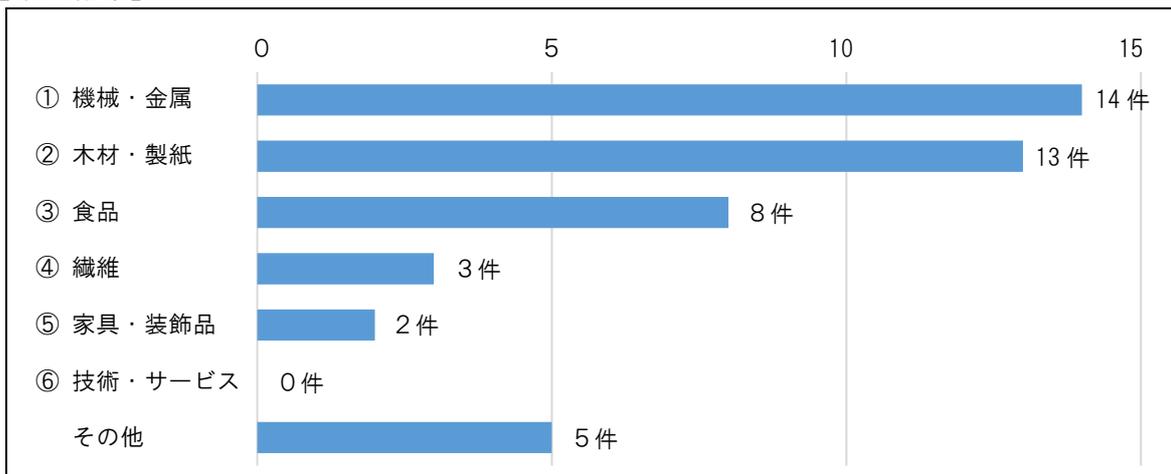
【集計結果】



(3) 輸入額が大きい上位3ヵ国・地域からの輸入品目

「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額が大きい上位3ヵ国・地域への輸入品目を尋ねたところ、「機械・金属」との回答が最も多く14件、次いで「木材・製紙」が13件、「食品」が8件の順だった。

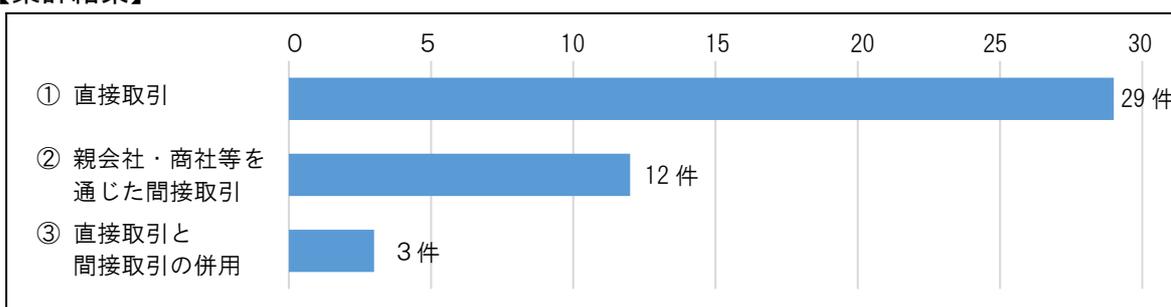
【集計結果】



(4) 輸入額が大きい上位3カ国・地域からの輸入形態

「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額が大きい上位3カ国・地域からの輸入形態を尋ねたところ、「直接取引」が最も多く29件、次いで「親会社・商社等を通じた間接取引」が12件、「直接取引と間接取引の併用」が3件の順だった。

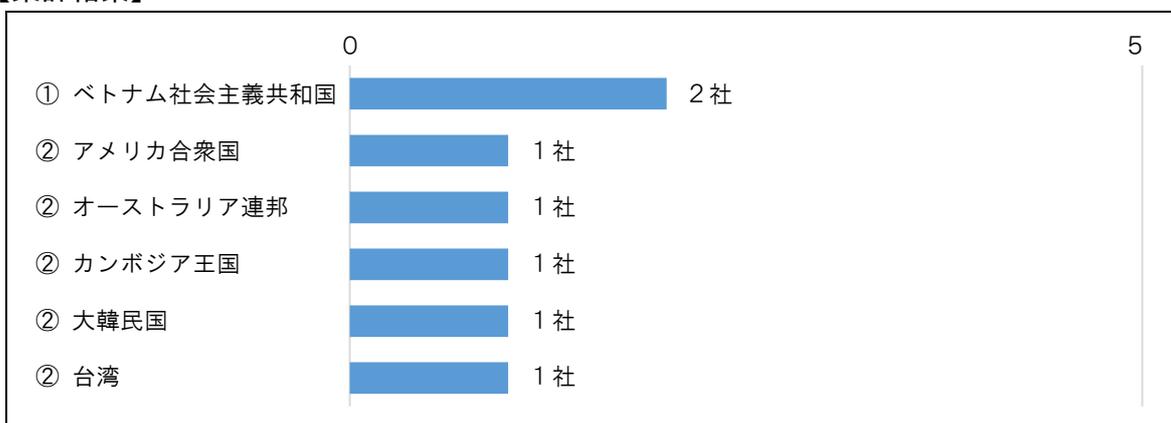
【集計結果】



(5) 新規輸入計画に係る輸入先（国・地域）

「2020年に輸入実績がある」又は「過去に輸入実績がある」と回答した43社に対して、今後の新規輸入計画に係る輸入先（3つ以内）を尋ねたところ、「ベトナム社会主義共和国」が2社、次いで「アメリカ合衆国」、「オーストラリア連邦」、「カンボジア王国」、「大韓民国」及び「台湾」がそれぞれ1社だった。

【集計結果】



4 海外進出・展開事業※の状況

※本調査における「海外進出・展開事業」の定義

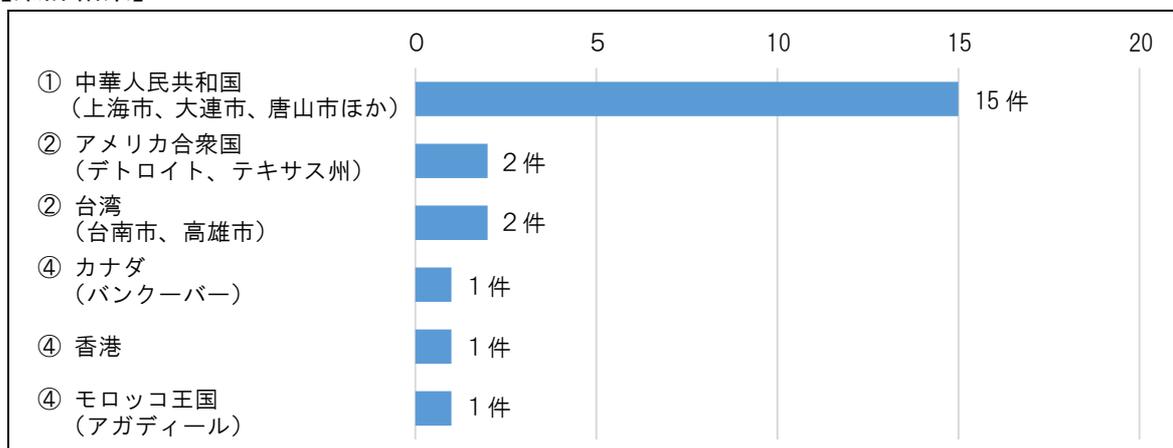
… 本調査では、「海外進出・展開事業」を「海外に駐在員事務所、支店、100%出資の子会社、合弁会社などの進出拠点を設置して、現地で直接事業を行うこと及び外国企業への生産委託、技術供与の提携を行うこと」と定義することとします。

(1) 海外進出・展開先の主な国・地域

「国際取引の実績及び計画がある」と回答した 92 社に対して、海外進出・展開事業の実績及び今後の予定を尋ねたところ 20 社から回答があり、そのうち「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した企業は 16 社（80.0%）だった。

これらの企業に対して、主な海外進出・展開先（2都市以内）を尋ねたところ、「中華人民共和国」の都市が最も多く 15 件、次いで「アメリカ合衆国」及び「台湾」の都市がそれぞれ 2 件の順だった。

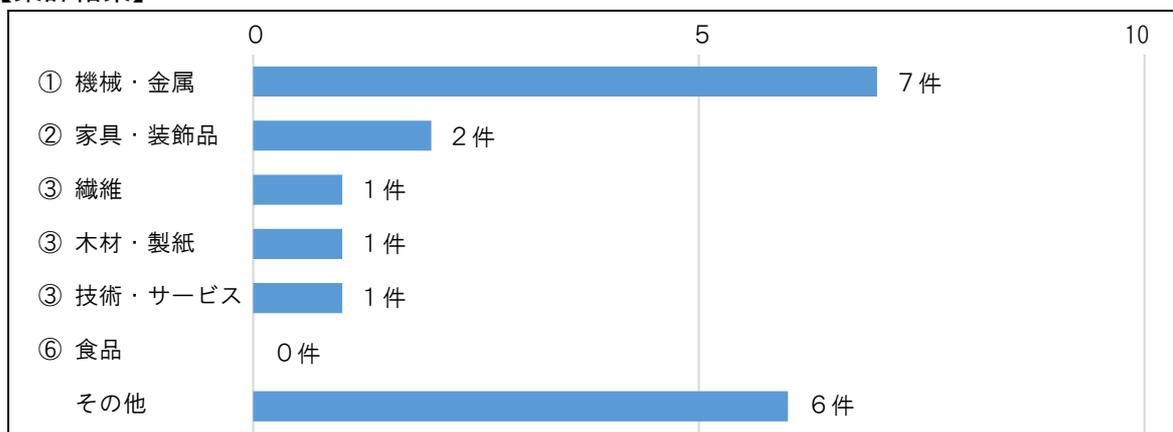
【集計結果】



(2) 海外進出・展開事業の主な取扱製品・サービス

「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した 16 社に対して、当該事業の主な取扱製品・サービスを尋ねたところ、「機械・金属」が最も多く 7 件、次いで「家具・装飾品」が 2 件、「繊維」、「木材・製紙」及び「技術・サービス」がそれぞれ 1 件の順だった。

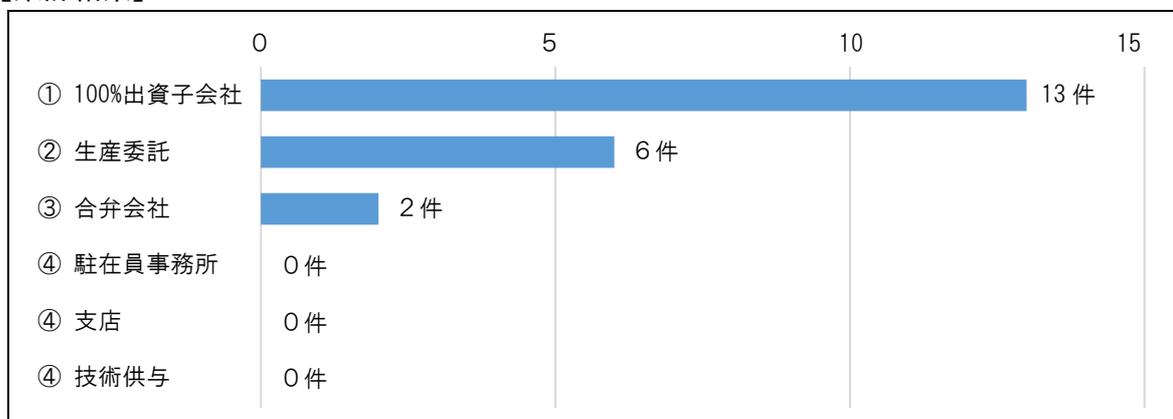
【集計結果】



(3) 海外進出・展開事業の形態

「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の形態を尋ねたところ、「100%出資子会社」が最も多く13件、次いで「生産委託」が6件、「合併会社」が2件の順だった。

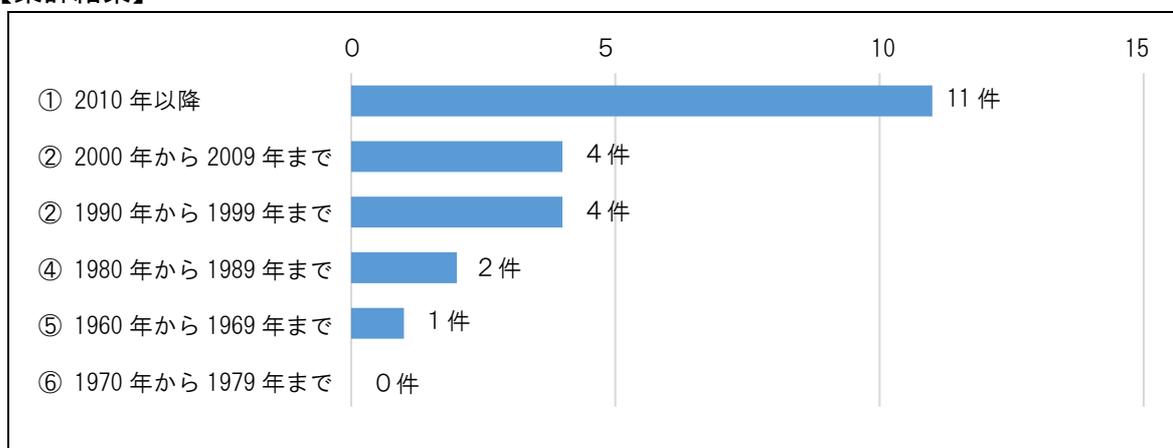
【集計結果】



(4) 海外進出・展開事業の実施年

「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の実施年を尋ねたところ、「2010年以降」が最も多く11件、次いで「2000年から2009年まで」及び「1990年から1999年まで」がそれぞれ4件の順だった。

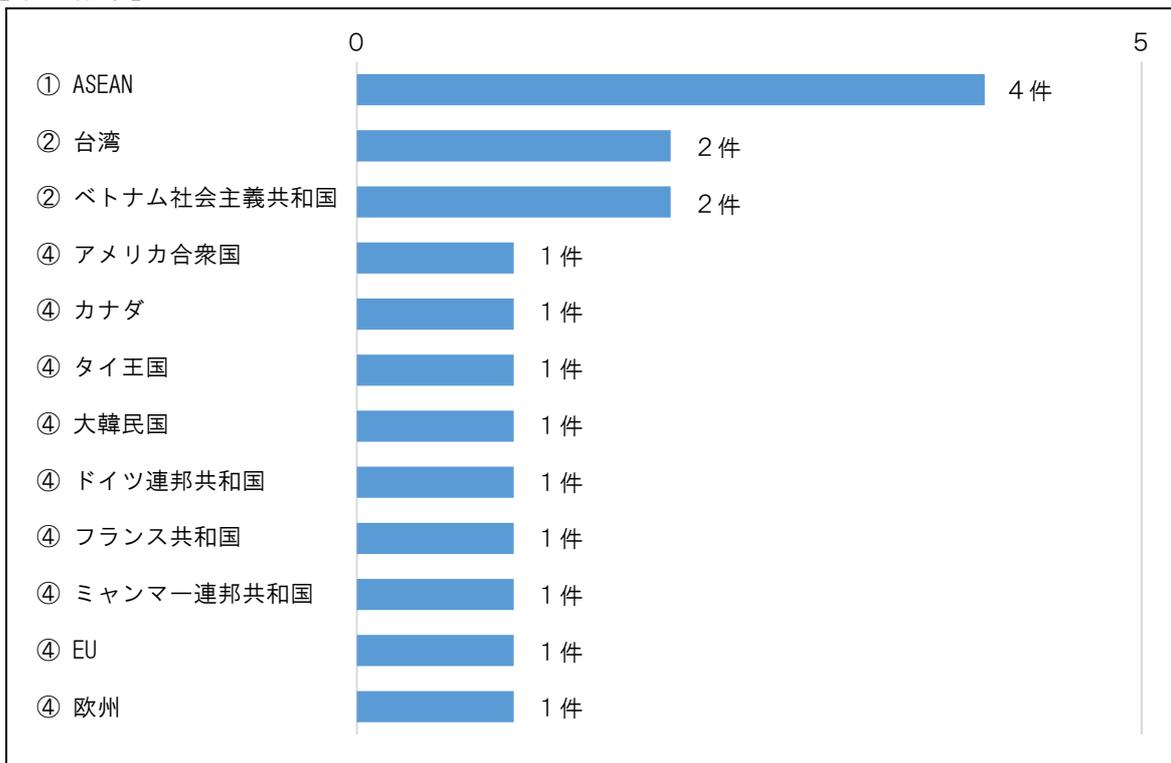
【集計結果】



(5) 今後の新規海外進出・展開計画の進出・展開先

「現在、海外進出・展開事業を実施している」又は「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」又は「現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい」と回答した20社に対して、今後の主な新規海外進出・展開計画（2つ以内）の進出・展開先を尋ねたところ、「ASEAN」が最も多く4件、次いで「台湾」及び「ベトナム社会主義共和国」がそれぞれ2件の順だった。

【集計結果】

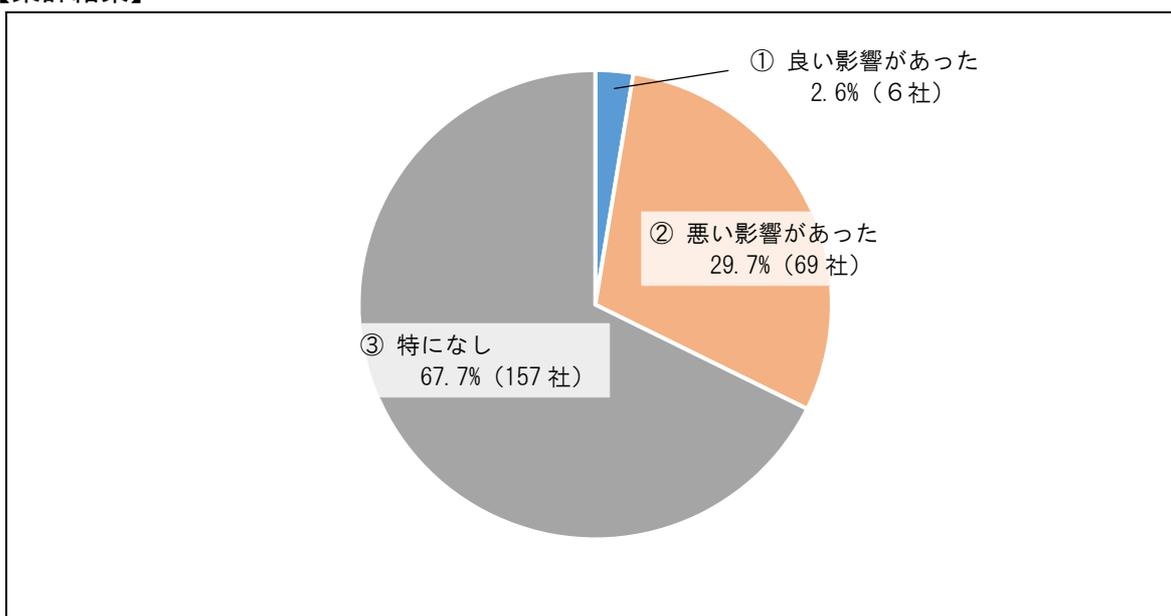


5 新型コロナウイルス感染症による影響 等

(1) 新型コロナウイルス感染症による海外進出事業への影響の有無

県内企業 249 社に対して、新型コロナウイルス感染症による海外展開事業への影響の有無を尋ねたところ 232 社から回答があり、「良い影響があった」が 6 社 (2.6%)、「悪い影響があった」が 69 社 (29.7%)、「特になし」が 157 社 (67.7%) だった。

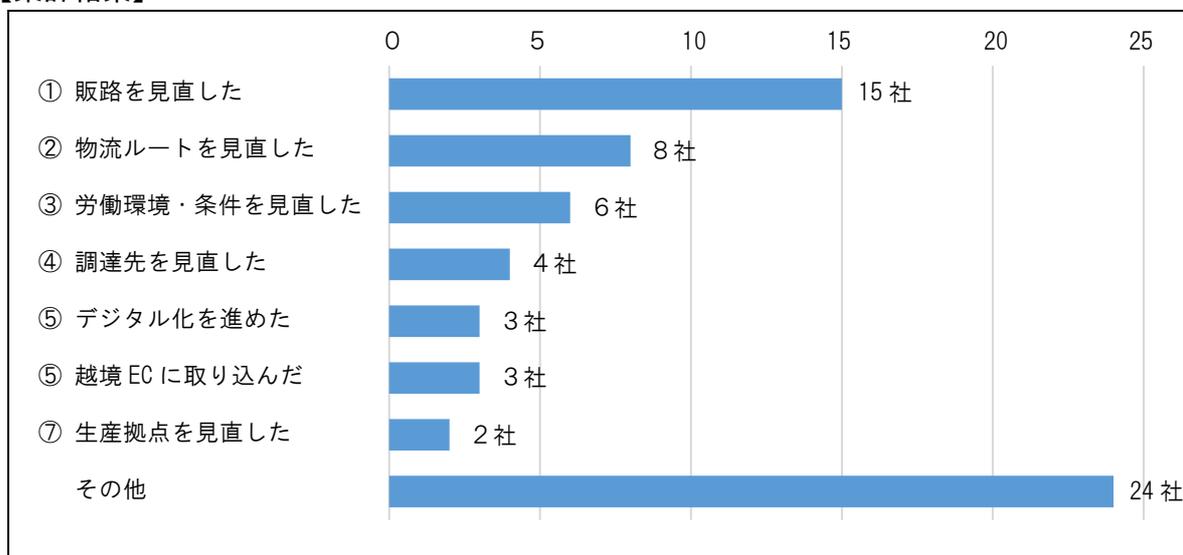
【集計結果】



(2) 悪い影響に対して講じた対応策

新型コロナウイルス感染症により海外展開事業への悪い影響があった回答した企業69社に対して、悪い影響に対して講じた対応策を尋ねたところ、「販路を見直した」が最も多く15社(21.7%)、次いで「物販ルートを見直した」が8社(11.6%)、「労働環境・条件を見直した」が6社(8.7%)の順だった。

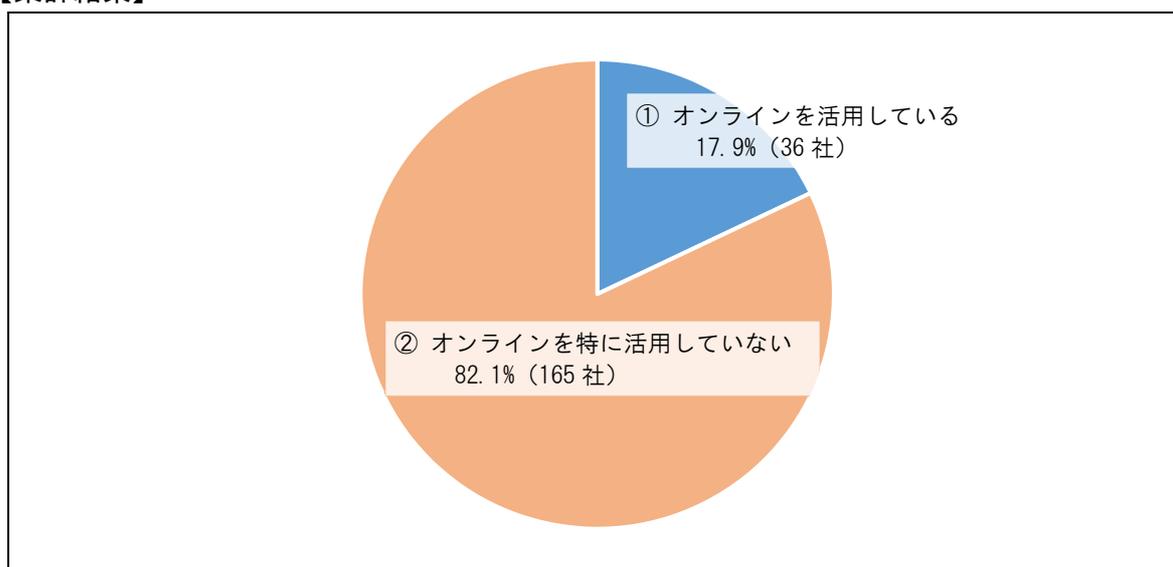
【集計結果】



(3) 海外展開におけるオンラインの活用の有無

県内企業249社に対して、海外展開においてオンラインの活用状況を尋ねたところ201社から回答があり、「活用している」が36社(17.9%)、「特に活用していない」が165社(82.1%)だった。

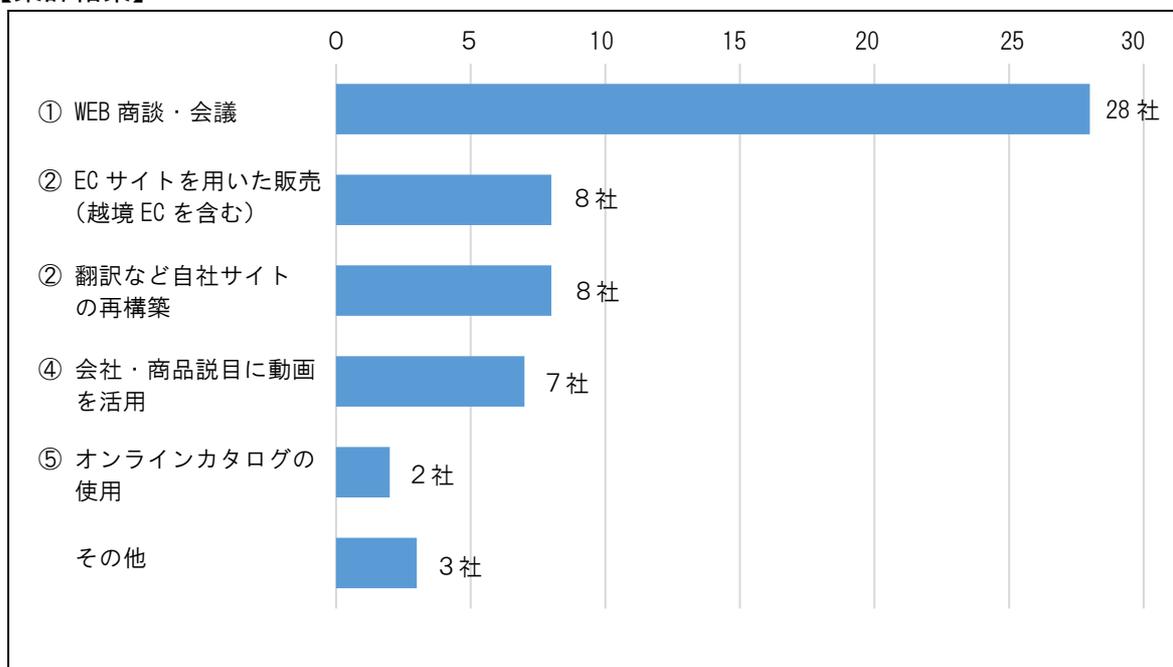
【集計結果】



(4) 海外展開におけるオンラインの活用の有無

海外展開において「オンラインを活用している」と回答した 36 社に対して、活用方法を尋ねたところ、「WEB 商談・会議」が最も多く 28 社 (77.8%)、次いで「EC サイトを用いた販売 (越境 EC を含む)」及び「翻訳など自社サイトの再構築」がそれぞれ 8 社 (22.2%) の順だった。

【集計結果】



Ⅲ 調査結果

1 国際取引の実績・計画の状況

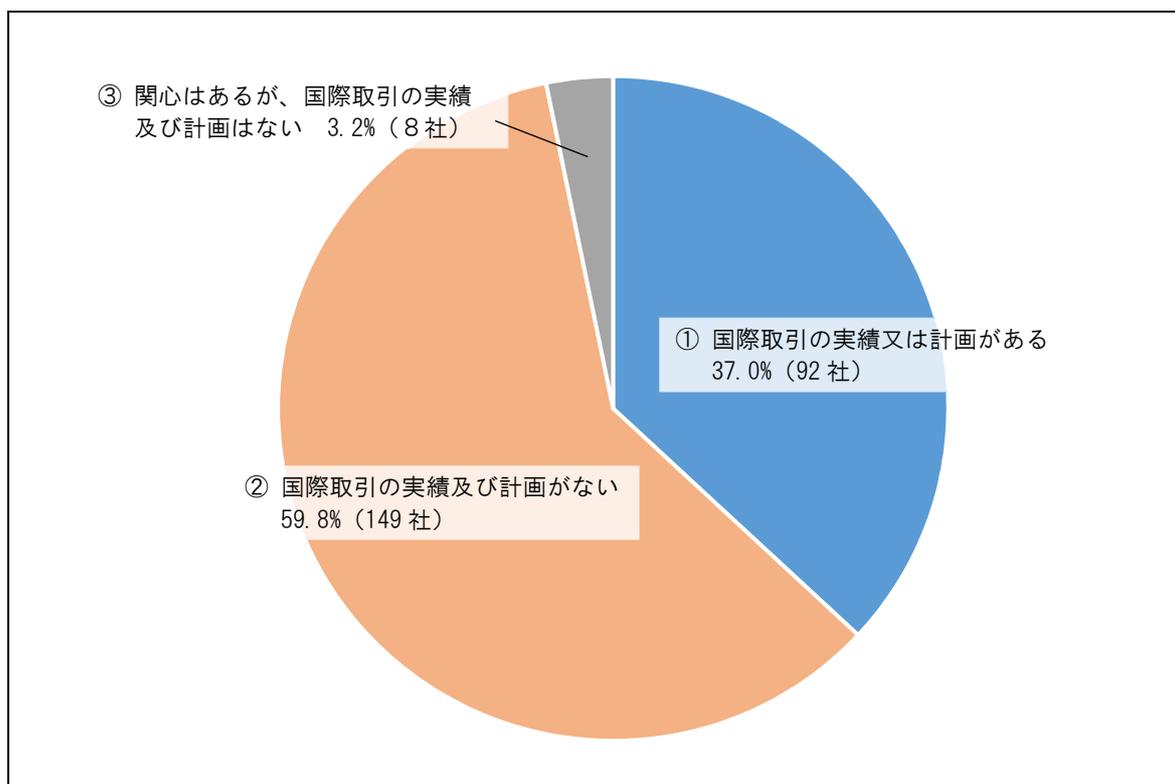
(1) 国際取引の実績及び今後の計画の有無（当てはまるものを一つ選択）

県内企業 712 社に対して、国際取引の実績及び今後の計画の有無を尋ねたところ 249 社から回答があった。

結果は、「国際取引の実績又は計画がある」が 92 社（37.0%）、「国際取引の実績及び計画がない」が 149 社（59.8%）、「関心はあるが、国際取引の実績及び計画はない」が 8 社（3.2%）だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 国際取引の実績又は計画がある	92 社	37.0%
② 国際取引の実績及び計画がない	149 社	59.8%
③ 関心はあるが、国際取引の実績及び計画はない	8 社	3.2%
回答企業数	249 社	100.0%

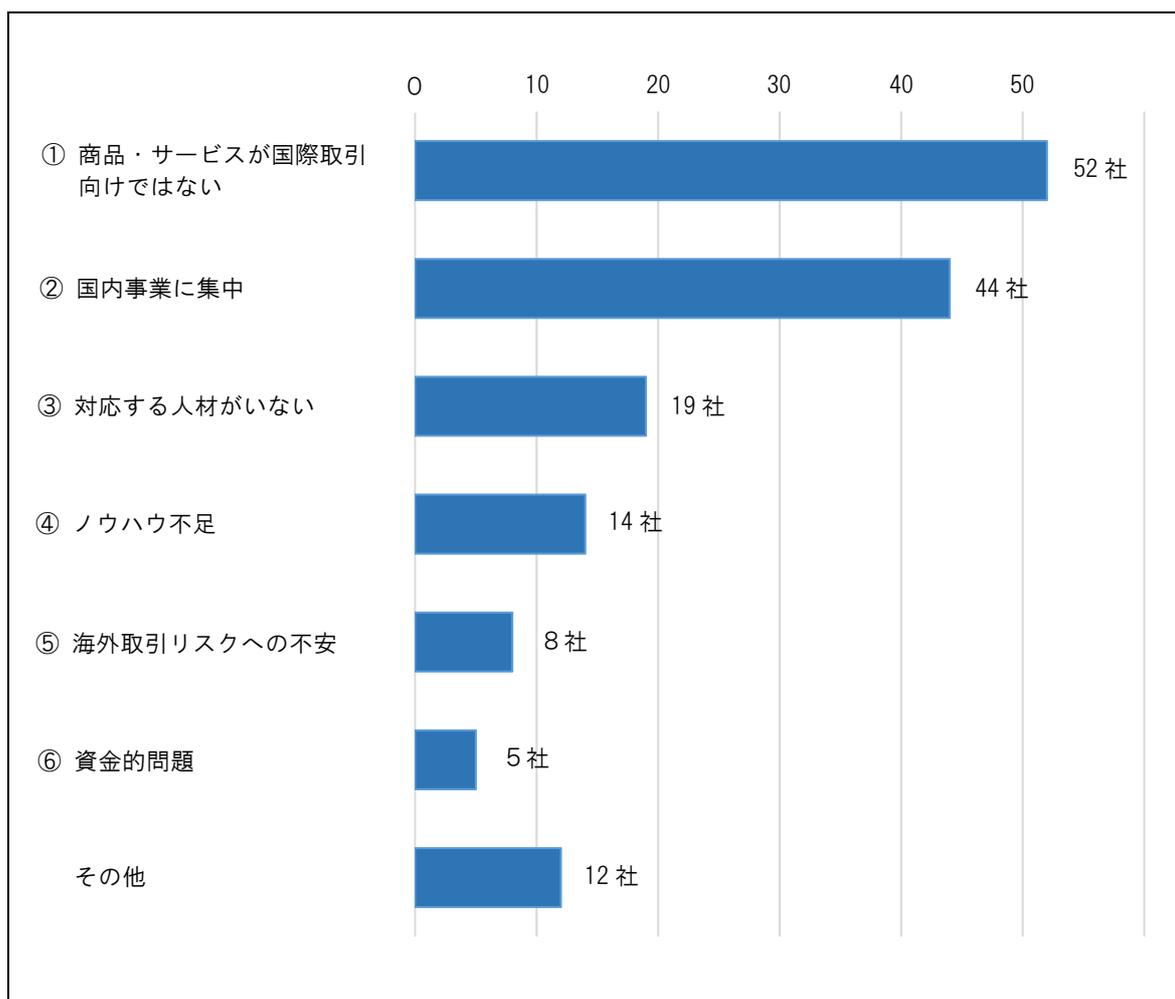


(2) 「国際取引の実績及び計画がない」企業の理由（複数選択可）

1 - (1) において、「国際取引の実績及び計画がない」と回答した 149 社に対して、実績や計画がない理由を尋ねたところ、「商品・サービスが国際取引向けではない」が最も多く 52 社 (34.9%)、次いで「国内事業に集中」が 44 社 (29.5%)、「対応する人材がない」が 19 社 (12.8%) の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 商品・サービスが国際取引向けではない	52 社	34.9%
② 国内事業に集中	44 社	29.5%
③ 対応する人材がない	19 社	12.8%
④ ノウハウ不足	14 社	9.4%
⑤ 海外取引リスクへの不安	8 社	5.4%
⑥ 資金的問題	5 社	3.4%
その他	12 社	—
回答対象企業数	149 社	—

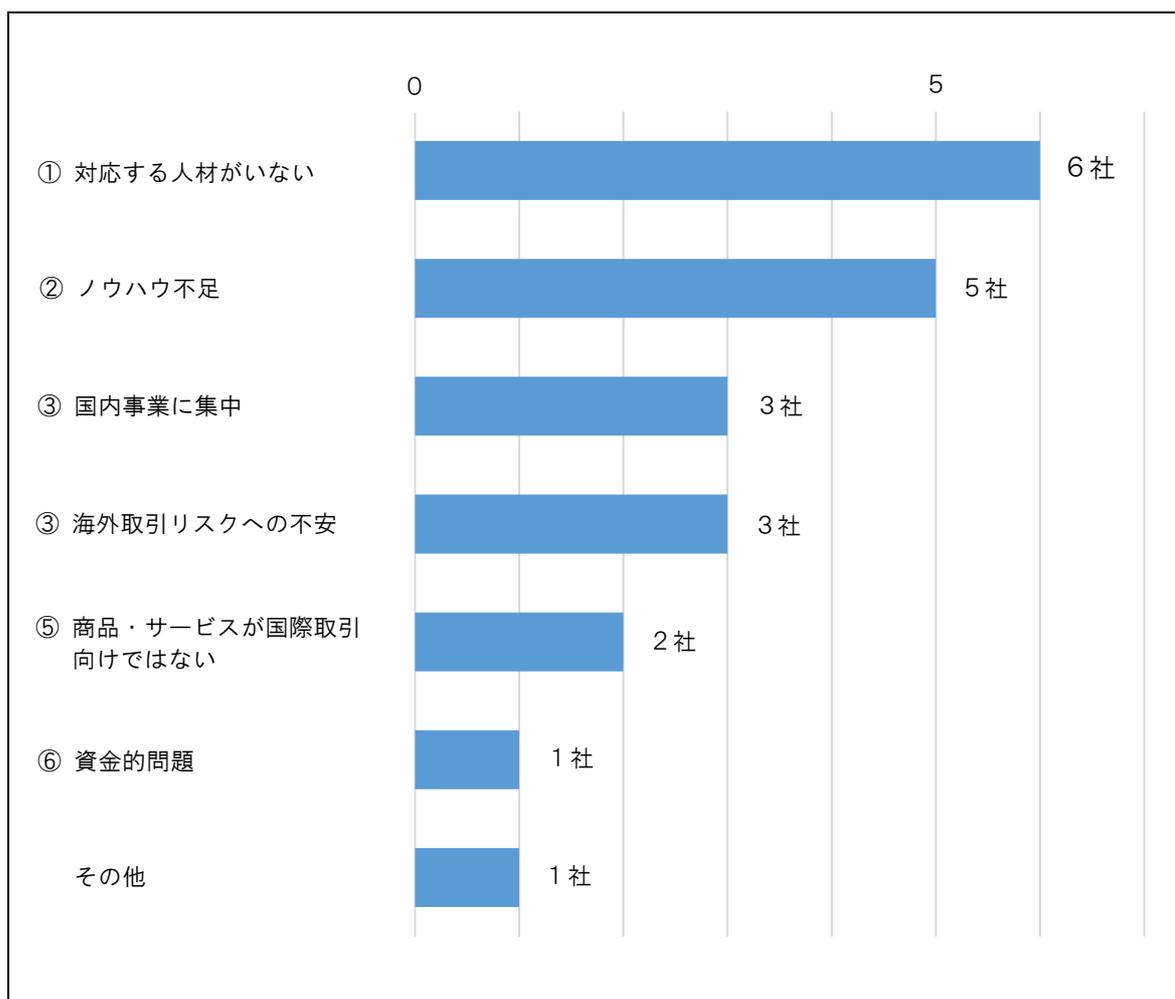


(3) 「国際取引に関心はあるが、実績及び計画がない」企業の理由（複数選択可）

1 - (1) において、「関心はあるが、国際取引の実績及び計画がない」と回答した8社に対して、関心があるにも関わらず実績や計画がない理由を尋ねたところ、「対応する人材がない」が最も多く6社（75.0%）、次いで「ノウハウ不足」が5社（62.5%）、「国内事業に集中」及び「海外取引リスクへの不安」がそれぞれ3社（37.5%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 対応する人材がない	6社	75.0%
② ノウハウ不足	5社	62.5%
③ 国内事業に集中	3社	37.5%
③ 海外取引リスクへの不安	3社	37.5%
⑤ 商品・サービスが国際取引向けではない	2社	25.0%
⑥ 資金的問題	1社	12.5%
その他	1社	—
回答対象企業数	8社	—



2 貿易（輸出）の状況

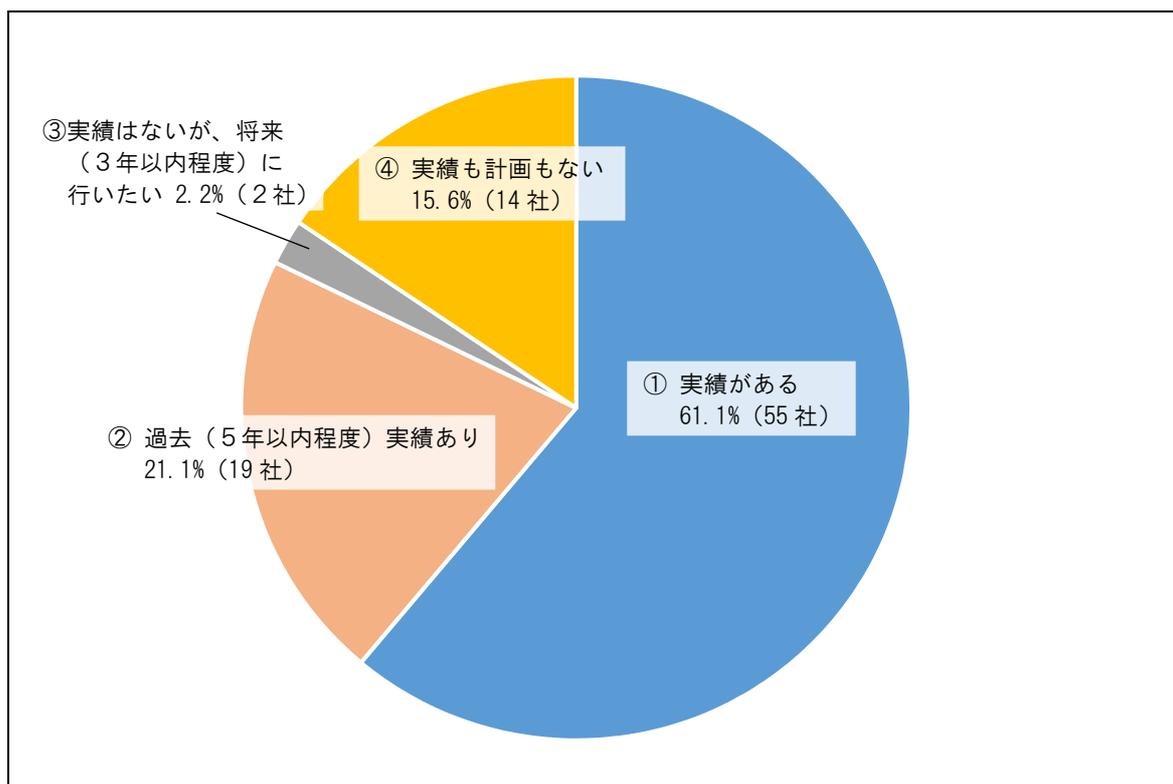
（1）輸出の実績及び今後の計画（当てはまるものを一つ選択）

1－（1）において、「国際取引の実績又は計画がある」と回答した 92 社に対して、2020 年の輸出実績の有無及び今後の予定を尋ねたところ 90 社から回答があった。

結果は、「実績がある」が 55 社（61.1%）、「過去（5 年以内程度）実績あり」が 19 社（21.1%）、「実績はないが、将来（3 年以内程度）に行きたい」が 2 社（2.2%）、「実績も計画もない」が 14 社（15.6%）だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 実績がある	55 社	61.1%
② 過去（5 年以内程度）実績あり	19 社	21.1%
③ 実績はないが、将来（3 年以内程度）に行きたい	2 社	2.2%
④ 実績も計画もない	14 社	15.6%
回答企業数	90 社	100.0%



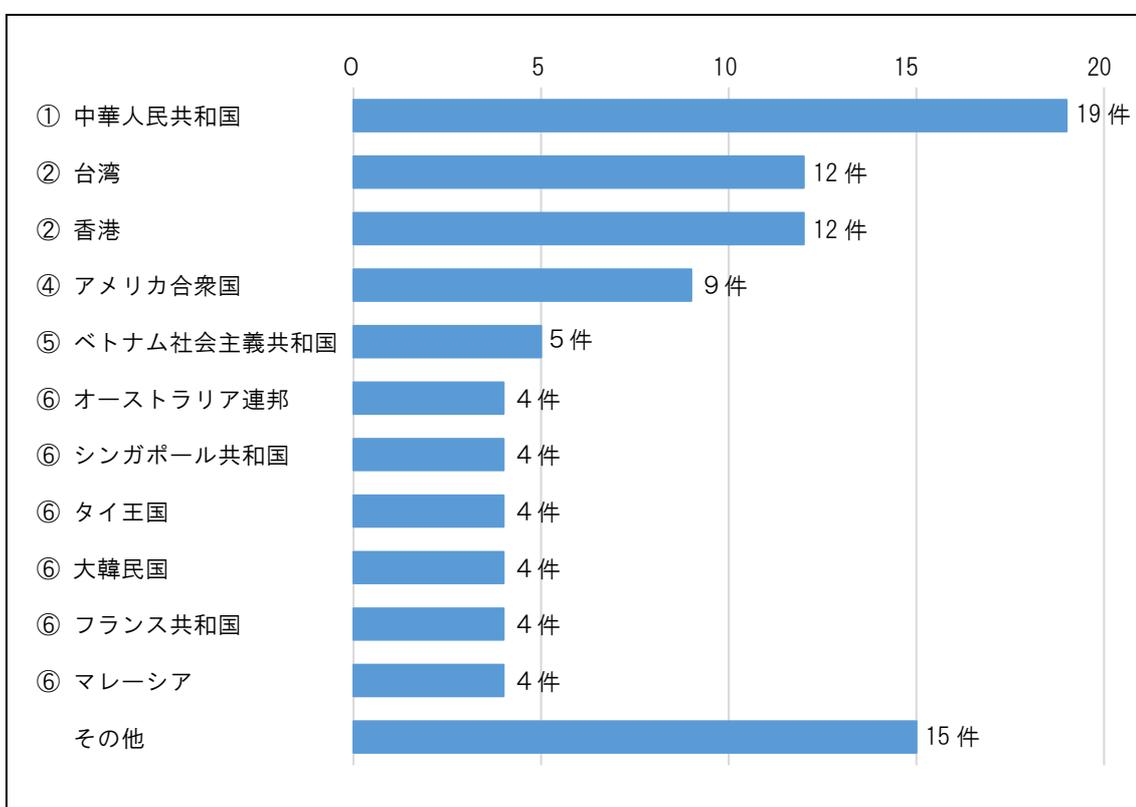
(2) 2020年(1~12月)の輸出実績(輸出額が大きい上位3ヵ国・地域を回答)

ア 輸出先

2-(1)において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域を尋ねたところ、「中国」が最も多く19件、次いで「台湾」及び「香港」がそれぞれ12件の順だった。

【集計結果：国・地域別】

回答内容(自由記載)	回答数	回答割合
① 中華人民共和国	19件	20.0%
② 台湾	12件	12.6%
② 香港	12件	12.6%
④ アメリカ合衆国	9件	9.5%
⑤ ベトナム社会主義共和国	5件	5.3%
⑥ オーストラリア連邦	4件	4.2%
⑥ シンガポール共和国	4件	4.2%
⑥ タイ王国	4件	4.2%
⑥ 大韓民国	4件	4.2%
⑥ フランス共和国	4件	4.2%
⑥ マレーシア	4件	4.2%
その他	15件	—
回答数の計	95件	—



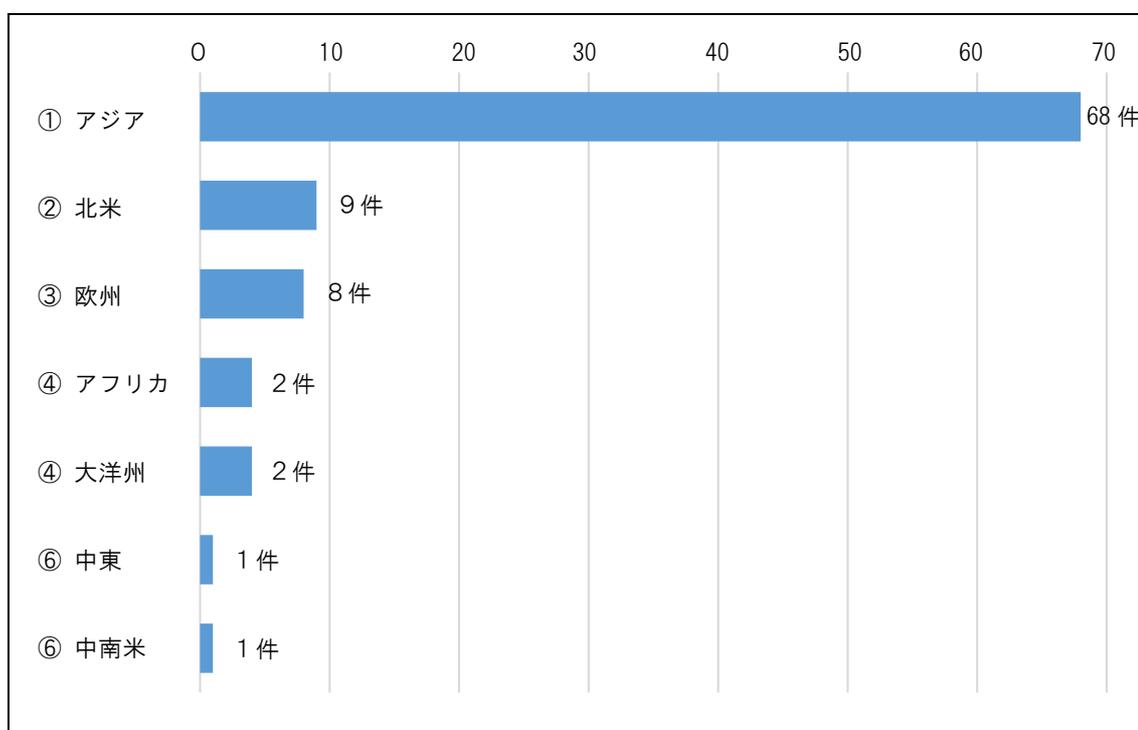
[その他の内訳]

回答内容（自由記載）	回答数
ロシア連邦	2件
アラブ首長国連邦（ドバイ）、インドネシア共和国、ウガンダ共和国、エスワティニ王国、スイス連邦、ナイジェリア連邦共和国、フィリピン共和国、ベルギー王国、マカオ、南アフリカ共和国、メキシコ合衆国、アジア	各1件

【集計結果：エリア別】※

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① アジア	68件	71.6%
② 北米	9件	9.5%
③ 欧州	8件	8.5%
④ アフリカ	4件	4.2%
④ 大洋州	4件	4.2%
⑥ 中東	1件	1.0%
⑥ 中南米	1件	1.0%
回答数の計	95件	

※各企業が回答した具体的な輸出先を県が上記の分類により整理して集計した。



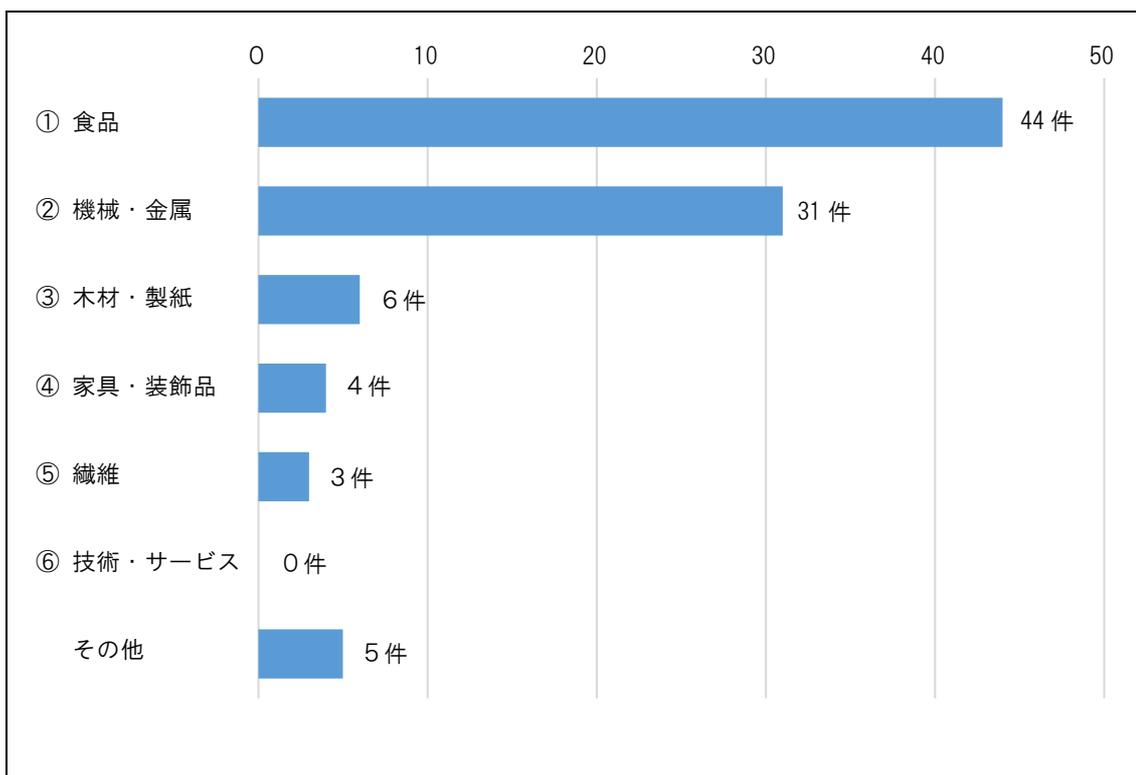
イ 輸出品目

2-(1)において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域への輸出品目を尋ねたところ、「食品」が最も多く44件、次いで「機械・金属」が31件、「木材・製紙」が6件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）※	回答数	回答割合
① 食品	44件	47.3%
② 機械・金属	31件	33.3%
③ 木材・製紙	6件	6.5%
④ 家具・装飾品	4件	4.3%
⑤ 繊維	3件	3.2%
⑥ 技術・サービス	0件	0.0%
その他	5件	—
回答数の計	93件	—

※各企業が回答した具体的な輸出品目を県が上記の分類により整理して集計した。

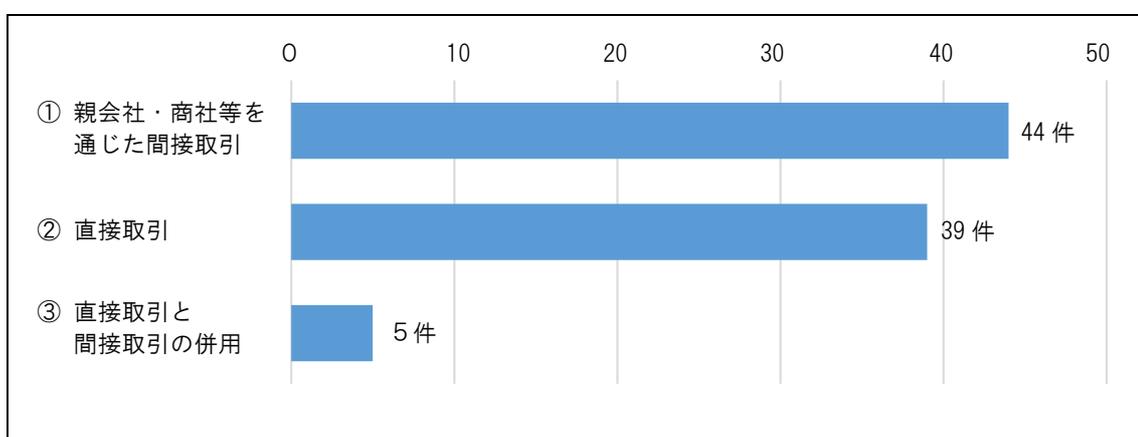


ウ 輸出形態

2- (1) において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域への輸出形態を尋ねたところ、「親会社・商社等を通じた間接取引」が最も多く44件、次いで「直接取引」が39件、「直接取引と間接取引の併用」が5件の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答数	回答割合
① 親会社・商社等を通じた間接取引	44件	50.0%
② 直接取引	39件	44.3%
③ 直接取引と間接取引の併用	5件	5.7%
回答数の計	88件	—

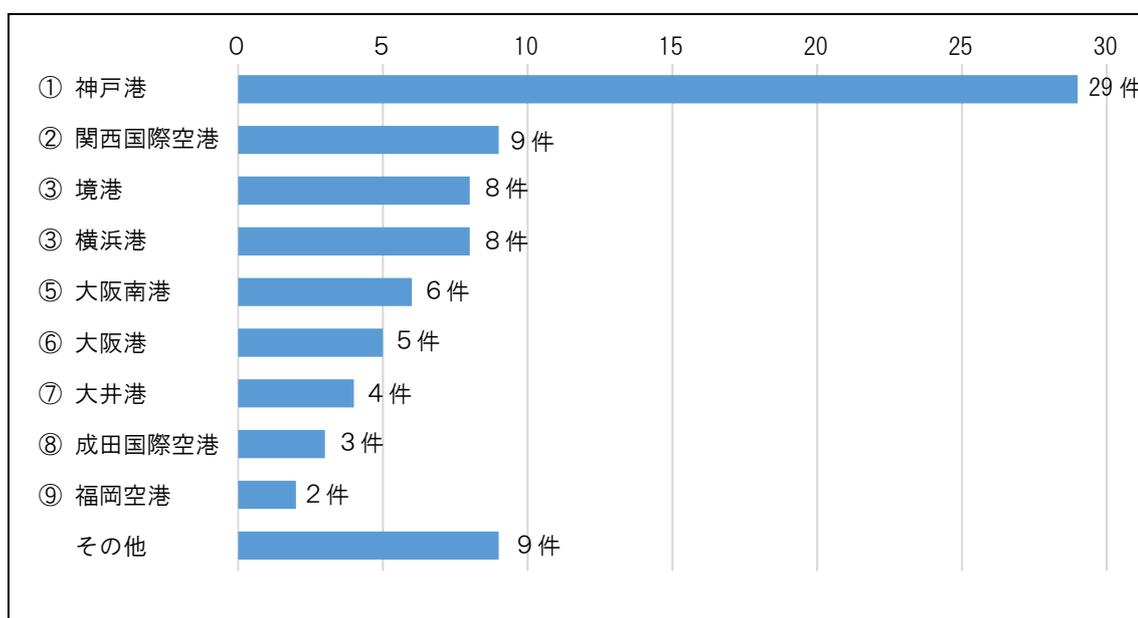


エ 輸出の際に利用した港湾・空港

2- (1) において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3カ国・地域への輸出の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）を尋ねたところ、「神戸港」が最も多く29件、次いで「関西国際空港」が9件、「境港」及び「横浜港」がそれぞれ8件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① 神戸港	29件	34.9%
② 関西国際空港	9件	10.8%
③ 境港	8件	9.6%
③ 横浜港	8件	9.6%
⑤ 大阪南港	6件	7.2%
⑥ 大阪港	5件	6.0%
⑦ 大井港	4件	4.8%
⑧ 成田国際空港	3件	3.6%
⑨ 福岡空港	2件	2.4%
その他	9件	—
回答数の計	83件	—



[その他の内訳]

回答内容（自由記載）	回答数
関東地方の空港・港湾	3件
ヤマト EMS	2件
東京港、東京国際空港（羽田空港）、名古屋港、ダーバン	各1件

オ 輸出の際に利用した港湾・空港の利用理由

2 - (1) において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域への輸出の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）の利用理由を尋ねたところ、次のとおりだった。

【集計結果】※

	A 取引商社 等の都合	B 便数が 多い	C 直行便 がある	D 運賃が 安い	E サービス (手続き) が良い	F その他	回答 企業数
① 神戸港	12件	8件	9件	2件	3件	2件	29件
② 関西国際空港	6件	3件	8件		1件	1件	9件
③ 境港	2件		2件		1件	1件	8件
③ 横浜港	7件	3件	3件			1件	8件
⑤ 大阪南港	3件						6件
⑥ 大阪港	5件					1件	5件
⑦ 大井港	1件						4件
⑧ 成田国際空港	2件		1件			1件	3件
⑨ 福岡空港	2件						2件

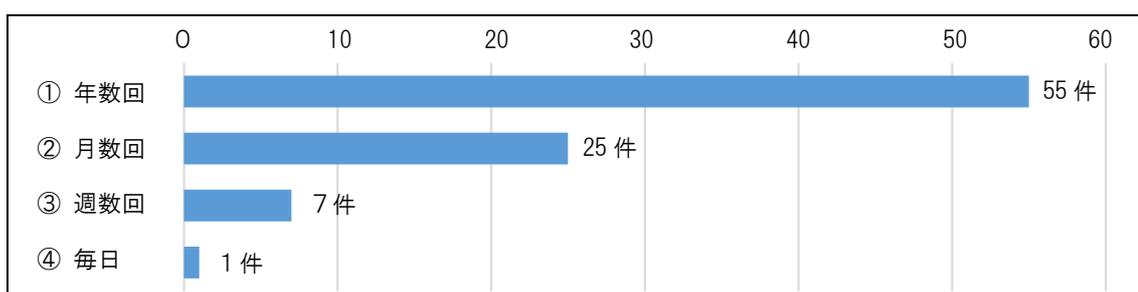
※各企業が港湾・空港の利用理由を複数回答により回答しているため、回答件数の合計と回答企業数とは一致していません。

カ 輸出の際に利用した港湾・空港の利用頻度

2 - (1) において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域への輸出の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）の利用頻度を尋ねたところ、「年数回」が最も多く55件、次いで「月数回」が25件、「週数回」が7件の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答数	回答割合
① 年数回	55件	62.5%
② 月数回	25件	28.4%
③ 週数回	7件	8.0%
④ 毎日	1件	1.1%
回答数の計	88件	—

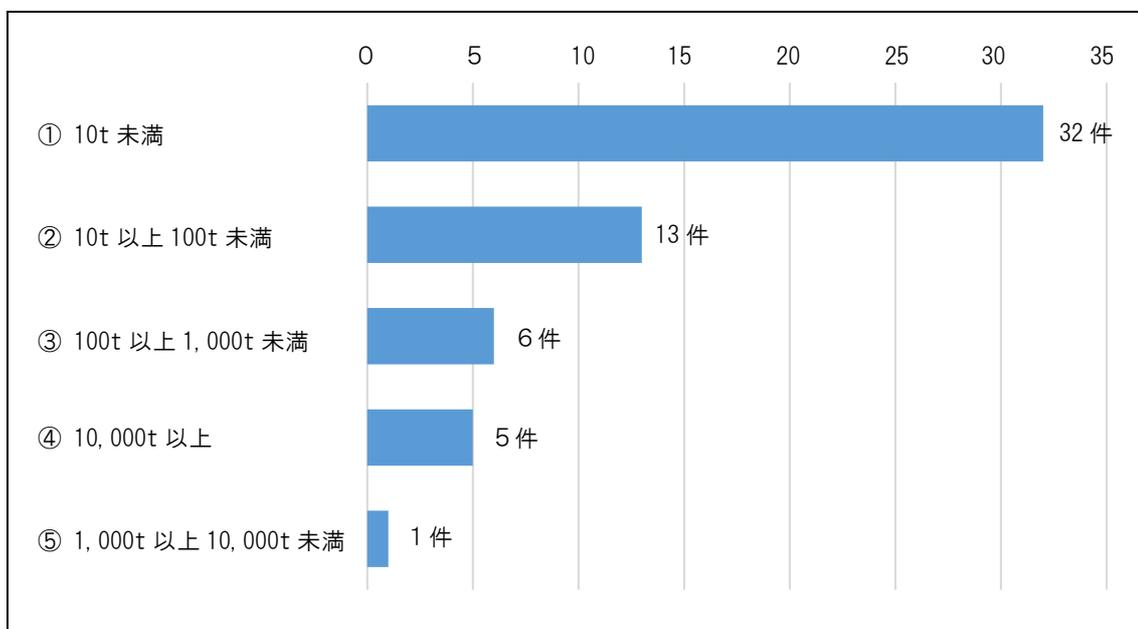


キ 貨物量

2-(1)において、「2020年に輸出実績がある」と回答した55社に対して、輸出額が大きい上位3ヵ国・地域への輸出の際に利用した主な港湾・空港(2つ以内)の貨物量を尋ねたところ、「10t未満」が最も多く32件、次いで「10t以上100t未満」が13件、「100t以上1,000t未満」が6件の順だった。

【集計結果】

回答内容(選択肢)	回答数	回答割合
① 10t未満	32件	56.1%
② 10t以上100t未満	13件	22.8%
③ 100t以上1,000t未満	6件	10.5%
④ 10,000t以上	5件	8.8%
⑤ 1,000t以上10,000t未満	1件	1.8%
回答数の計	57件	—



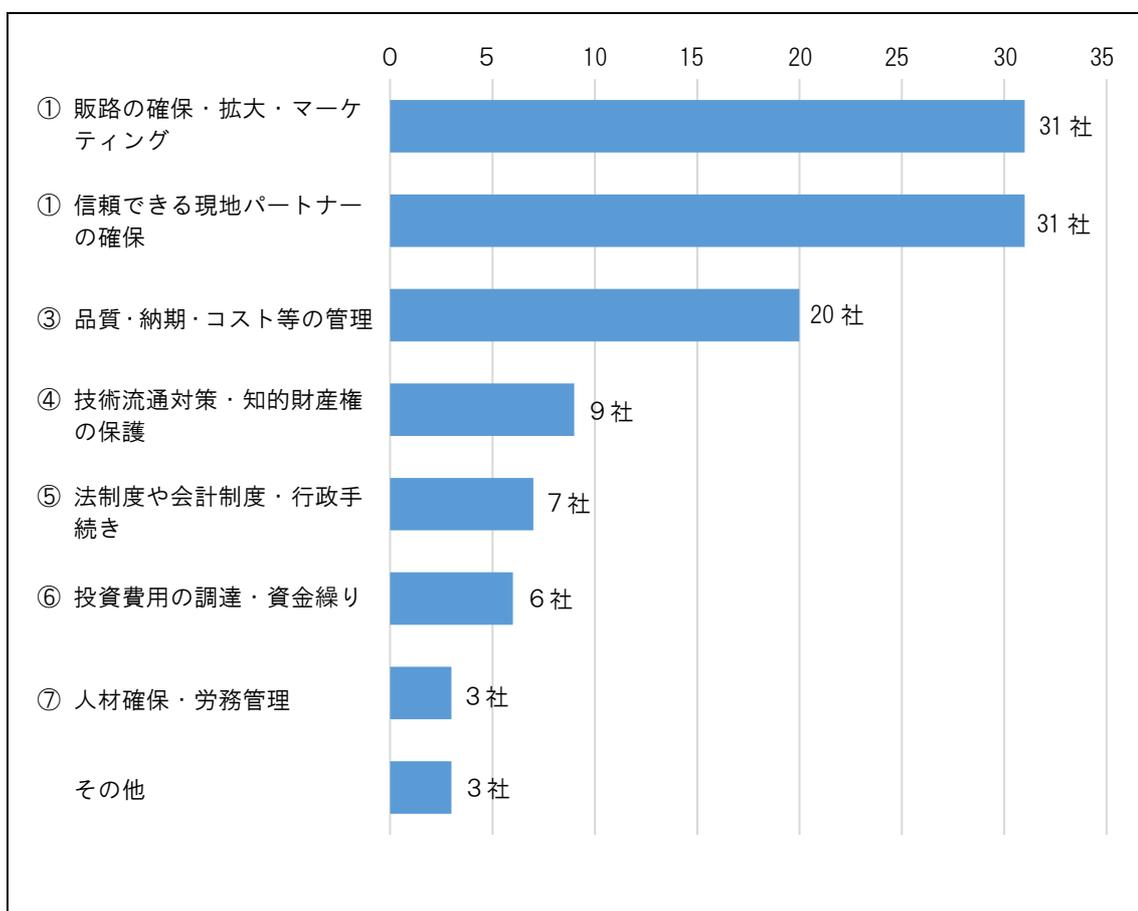
(3) 輸出における課題、必要とする支援策

ア 輸出を行った際に感じた課題（複数選択可）

2-(1)において、「2020年に輸出実績がある」及び「過去に輸出実績がある」と回答した74社に対して、輸出を行った際に感じた課題を尋ねたところ、「販路の確保・拡大・マーケティング」及び「信頼できる現地パートナーの確保」が最も多くそれぞれ31社（41.9%）、次いで「品質・納期・コスト等の管理」が20社（27.0%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 販路の確保・拡大・マーケティング	31社	41.9%
① 信頼できる現地パートナーの確保	31社	41.9%
③ 品質・納期・コスト等の管理	20社	27.0%
④ 技術流通対策・知的財産権の保護	9社	12.2%
⑤ 法制度や会計制度・行政手続き	7社	9.5%
⑥ 投資費用の調達・資金繰り	6社	8.1%
⑦ 人材確保・労務管理	3社	4.1%
その他	3社	—
回答対象企業数	74社	—

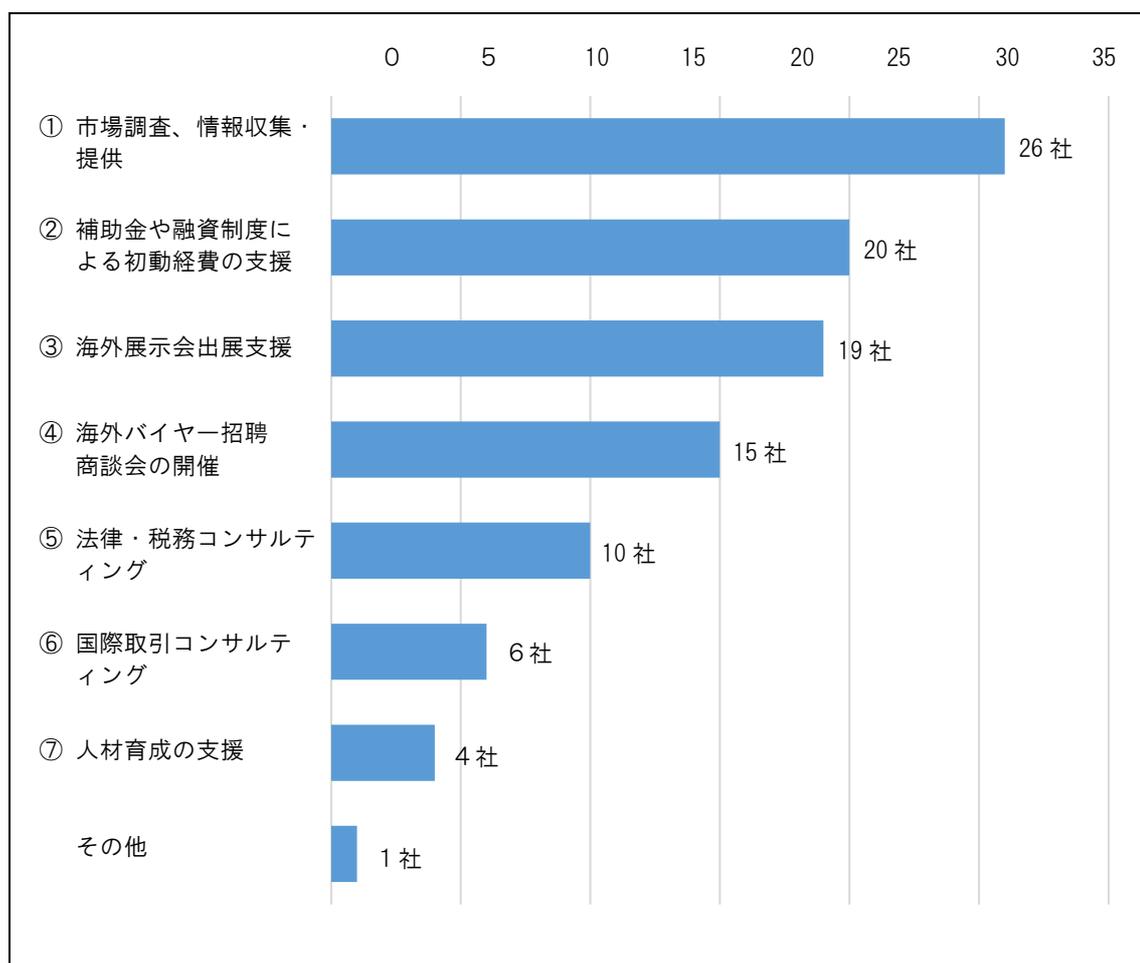


イ 輸出を行う際に必要とする支援策（複数選択可）

2-（1）において、「2020年に輸出実績がある」及び「過去に輸出実績がある」と回答した74社に対して、輸出を行う際に必要とする支援策を尋ねたところ、「市場調査、情報収集・提供」が最も多く26社（35.1%）、次いで「補助金や融資制度による初動経費の支援」が20社（27.0%）、「海外展示会出展支援」が19社（25.7%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 市場調査、情報収集・提供	26社	35.1%
② 補助金や融資制度による初動経費の支援	20社	27.0%
③ 海外展示会出展支援	19社	25.7%
④ 海外バイヤー招聘商談会の開催	15社	20.3%
⑤ 法律・税務コンサルティング	10社	13.5%
⑥ 国際取引コンサルティング	6社	8.1%
⑦ 人材育成の支援	4社	5.4%
その他	1社	—
回答対象企業数	74社	—



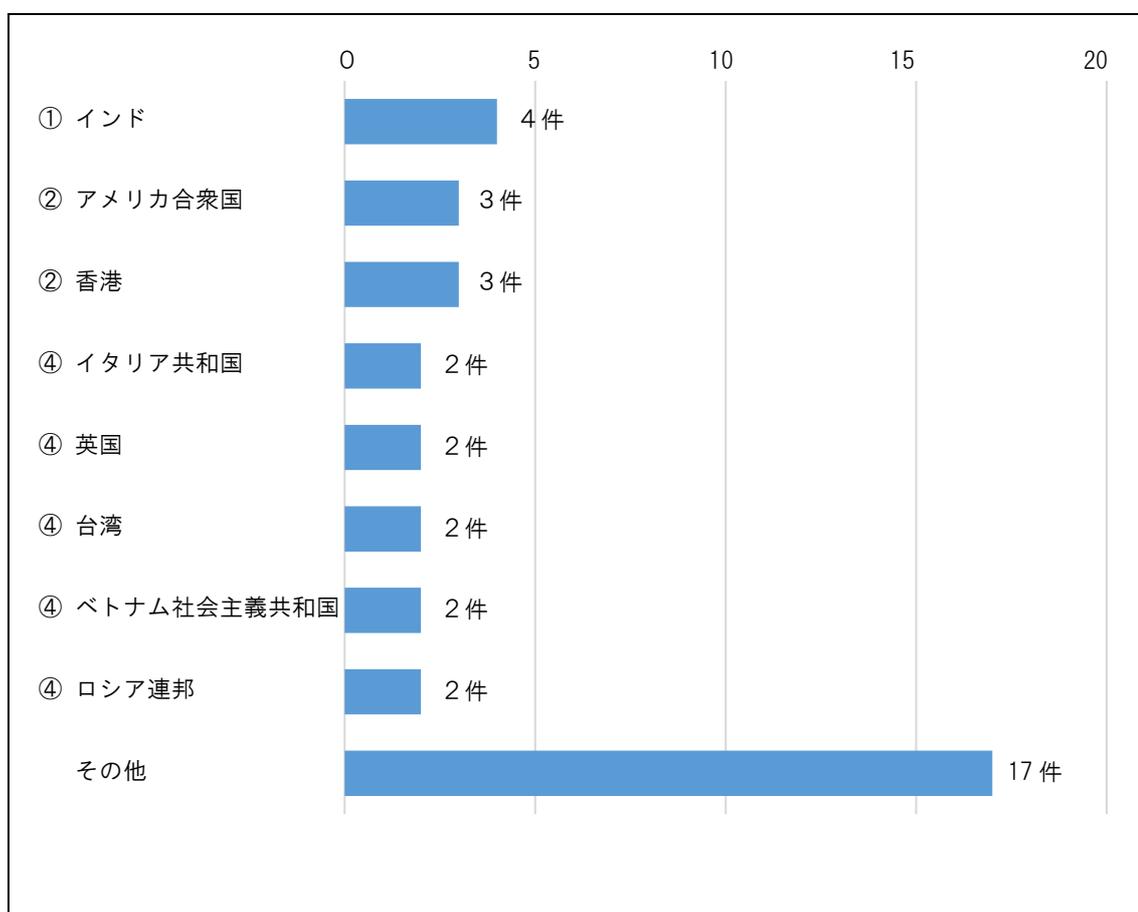
(4) 今後の新規輸出計画

ア 新規輸出計画に係る輸出先（複数記載可）

2-（1）において、「2020年に輸出実績がある」及び「過去に輸出実績がある」と回答した74社に対して、今後の新規輸出計画に係る輸出先（3つ以内）を尋ねたところ、「インド」が最も多く4件、次いで「アメリカ合衆国」及び「香港」がそれぞれ3件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① インド	4件	10.8%
② アメリカ合衆国	3件	8.1%
② 香港	3件	8.1%
④ イタリア共和国	2件	5.4%
④ 英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）	2件	5.4%
④ 台湾	2件	5.4%
④ ベトナム社会主義共和国	2件	5.4%
④ ロシア連邦	2件	5.4%
その他	17件	—
回答数の計	37件	—



[その他の内訳]

回答内容（自由記載）	回答数
アラブ首長国連邦（ドバイ）、カナダ、サウジアラビア王国、シンガポール共和国、スペイン王国、タイ王国、大韓民国、ドイツ連邦共和国、ナイジェリア連邦共和国、フィリピン共和国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、南アフリカ共和国、ASEAN、東南アジア、EU、欧州	各1件

イ 新規輸出計画に係る輸出品目（複数選択可）

2-（1）において、「2020年に輸出実績がある」及び「過去に輸出実績がある」と回答した74社に対して、今後の新規輸出計画に係る輸出品目を尋ねたところ、次のとおりだった。

【集計結果】

	A 食品	B 繊維	C 木材・ 製紙	D 家具・ 装飾	E 機械・ 金属	F 技術・ サービス	G その他	回答数
① インド	4件							4件
② アメリカ合衆国	1件		1件				1件	3件
③ 香港	3件							3件
⑤ イタリア共和国				1件	1件			2件
④ 英国					1件		1件	2件
⑧ 台湾	1件							2件
⑥ ベトナム社会主義共和国		1件					1件	2件
⑦ ロシア連邦	2件							2件

3 貿易（輸入）の状況

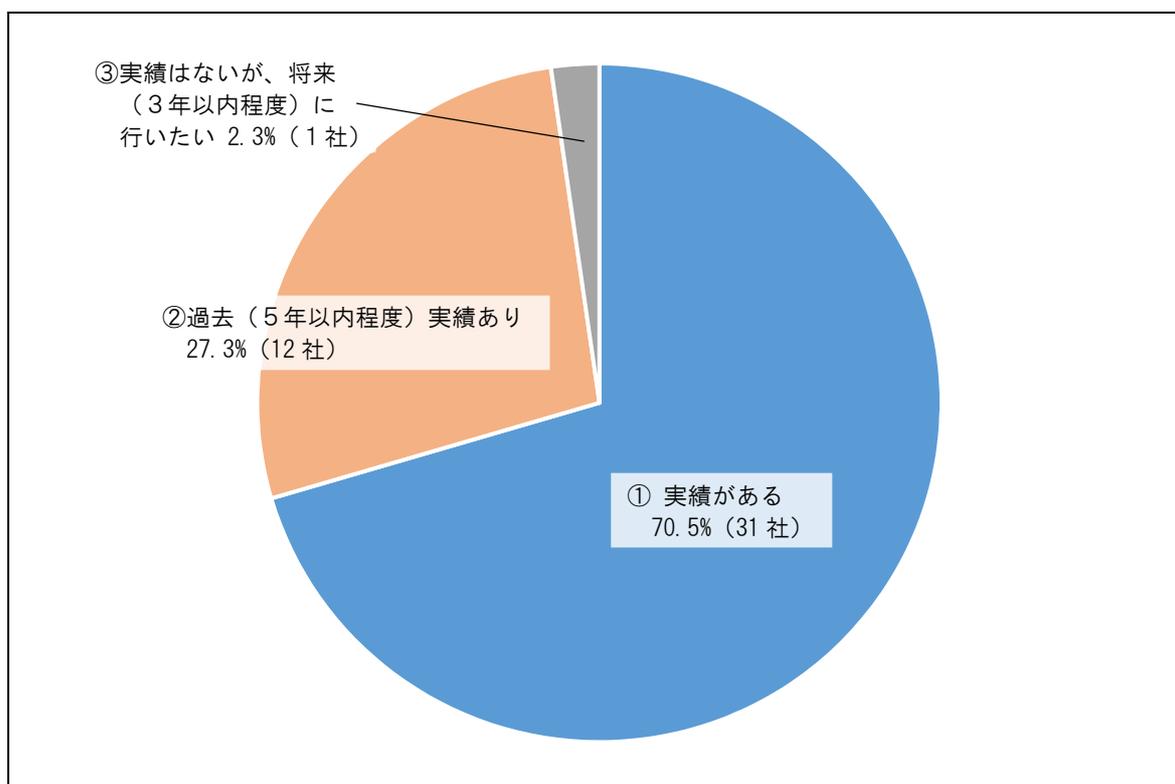
（1）輸入の実績及び今後の計画（当てはまるものを一つ選択）

1－（1）において、「国際取引の実績及び計画がある」と回答した 92 社に対して、2020年の輸入実績の有無及び今後の予定について尋ねたところ 44社から回答があった。

結果、「実績がある」が 31 社（70.5%）、「過去（5年以内程度）実績あり」が 12 社（27.3%）、「実績はないが、将来（3年以内程度）に行きたい」が 1 社（2.3%）だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 実績がある	31 社	70.5%
② 過去（5年以内程度）実績あり	12 社	27.3%
③ 実績はないが、将来（3年以内程度）に行きたい	1 社	2.3%
④ 実績も計画もない	0 社	0.0%
回答企業数	44 社	100.0%



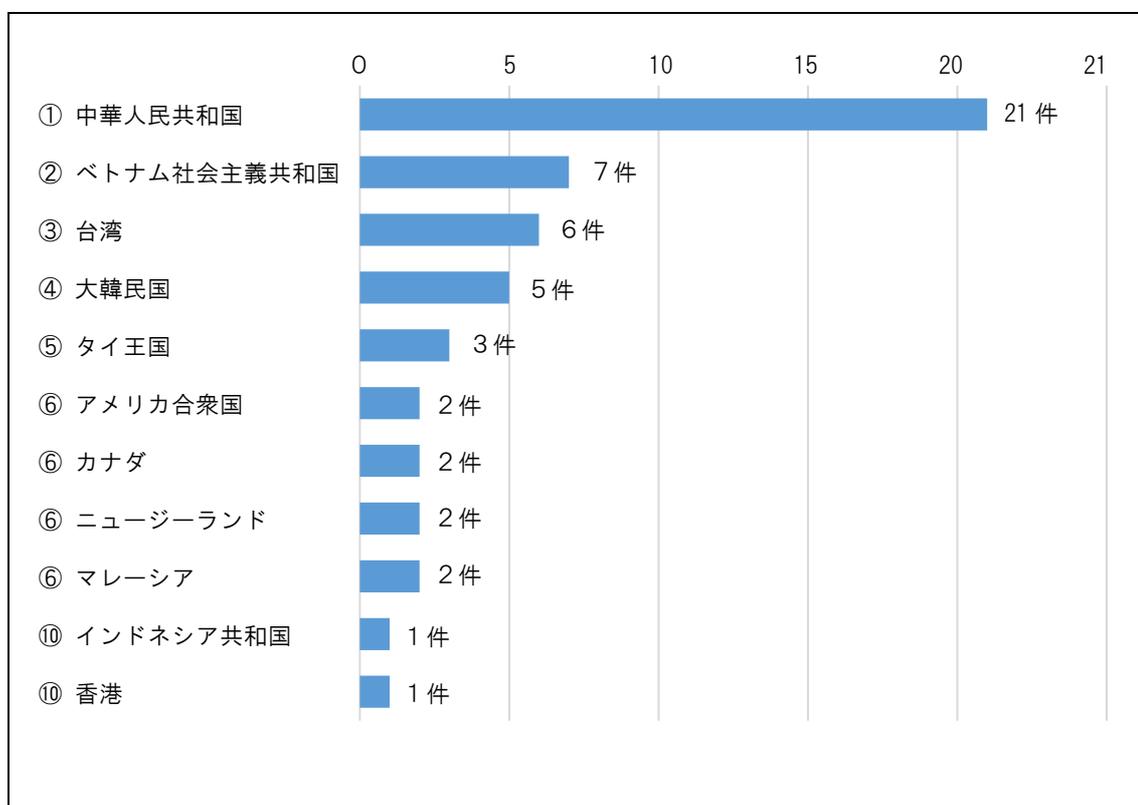
(2) 2020年(1~12月)の輸入実績(輸入額の大きい上位3ヵ国・地域を回答)

ア 輸入先

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域を尋ねたところ、「中国」が最も多く21件、次いで「ベトナム社会主義共和国」が7件、「台湾」が6件の順だった。

【集計結果：国・地域別】

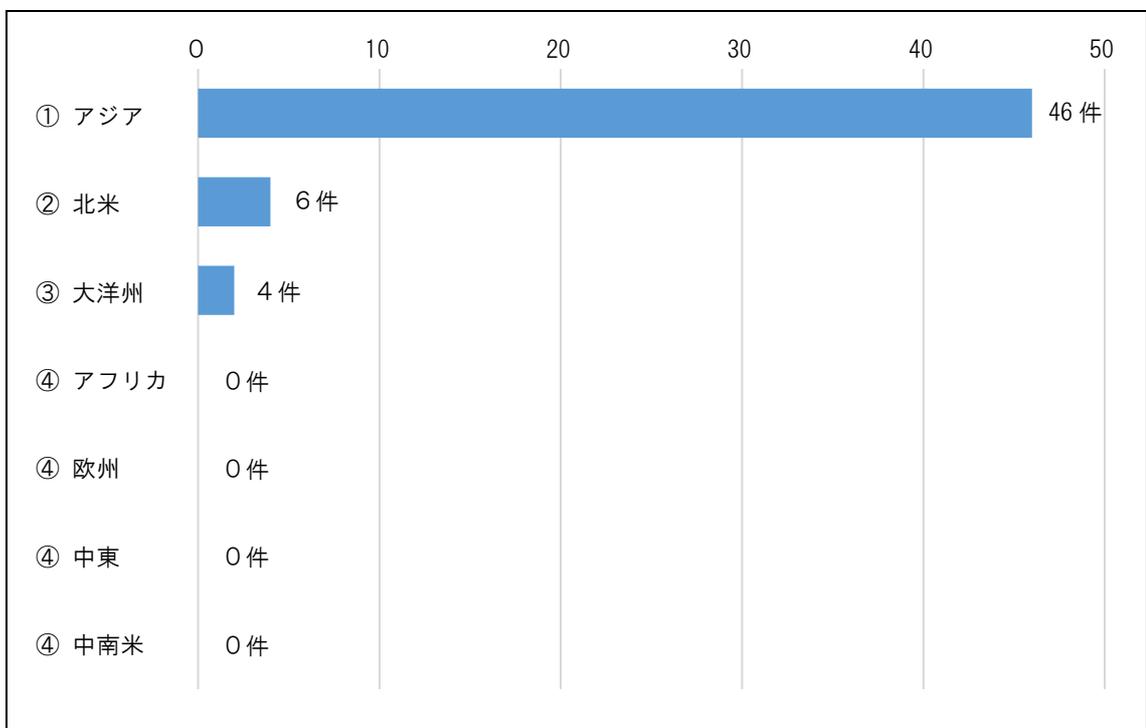
回答内容(自由記載)	回答数	回答割合
① 中華人民共和国	21件	40.4%
② ベトナム社会主義共和国	7件	13.5%
③ 台湾	6件	11.5%
④ 大韓民国	5件	9.6%
⑤ タイ王国	3件	5.8%
⑥ アメリカ合衆国	2件	3.8%
⑥ カナダ	2件	3.8%
⑥ ニュージーランド	2件	3.8%
⑥ マレーシア	2件	3.8%
⑩ インドネシア共和国	1件	1.9%
⑩ 香港	1件	1.9%
回答数の計	52件	—



【集計結果：エリア別】※

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① アジア	46 件	88.5%
② 北米	4 件	7.7%
③ 大洋州	2 件	3.8%
④ アフリカ	0 件	0.0%
④ 欧州	0 件	0.0%
④ 中東	0 件	0.0%
④ 中南米	0 件	0.0%
回答数の計	52 件	

※各企業が回答した具体的な輸入先を県が上記の分類により整理して集計した。



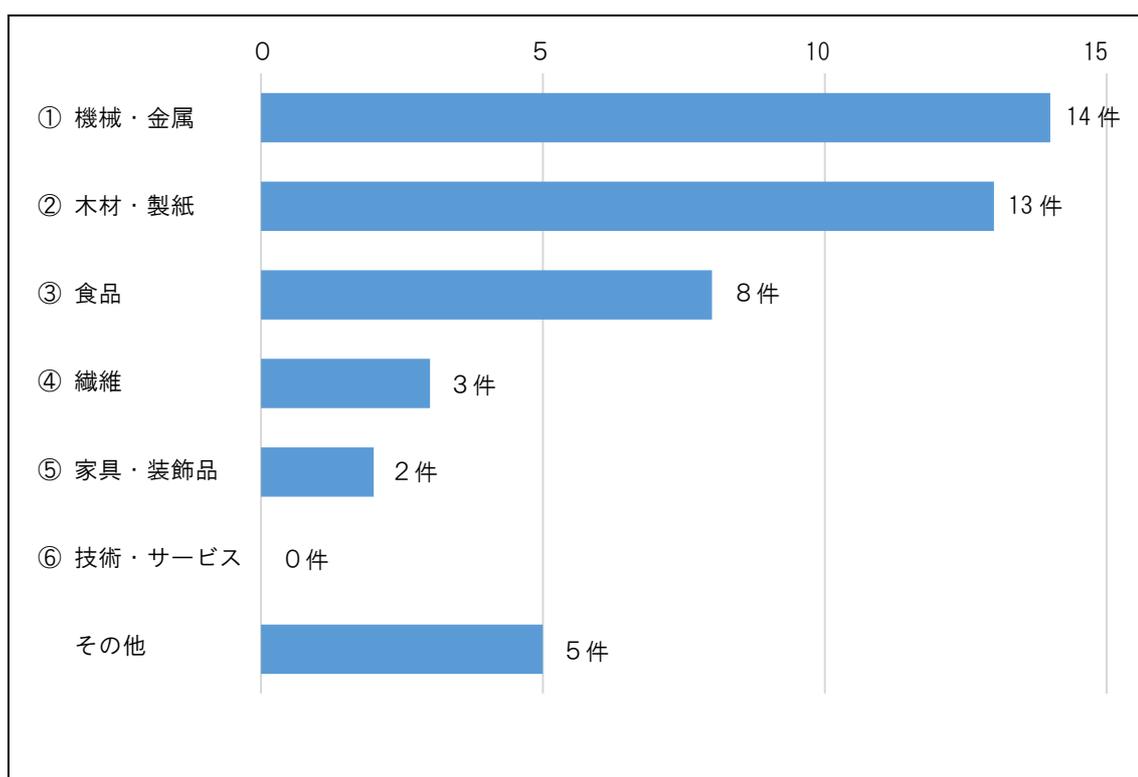
イ 輸入品目

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入品目を尋ねたところ、「機械・金属」が最も多く14件、次いで「木材・製紙」が13件、「食品」が8件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）※	回答数	回答割合
① 機械・金属	14件	47.3%
② 木材・製紙	13件	33.3%
③ 食品	8件	6.5%
④ 繊維	3件	4.3%
⑤ 家具・装飾品	2件	3.2%
⑥ 技術・サービス	0件	0.0%
その他	5件	—
回答数の計	52件	—

※各企業が回答した具体的な輸入品目を県が上記の分類により整理して集計した。

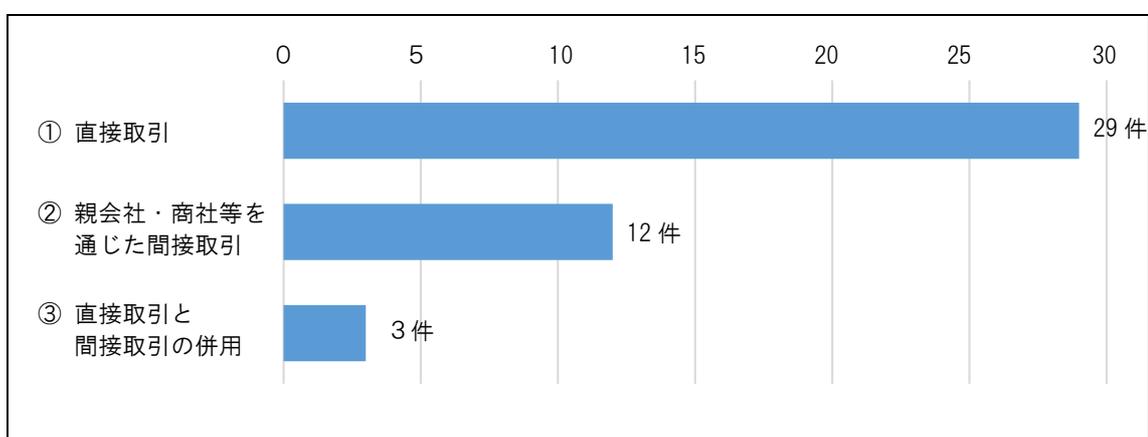


ウ 輸入形態

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入形態を尋ねたところ、「直接取引」が最も多く29件、次いで「親会社・商社等を通じた間接取引」が12件、「直接取引と間接取引の併用」が3件の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答数	回答割合
① 直接取引	29件	65.9%
② 親会社・商社等を通じた間接取引	12件	27.3%
③ 直接取引と間接取引の併用	3件	6.8%
回答数の計	44件	—

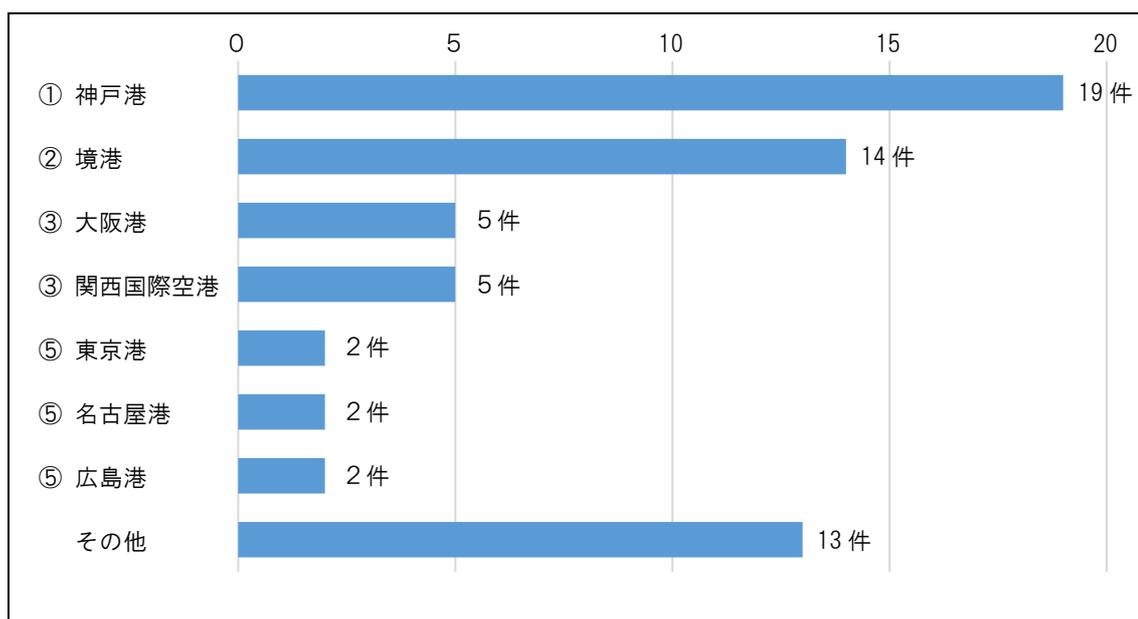


エ 輸入の際に利用した港湾・空港

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）を尋ねたところ、「神戸港」が最も多く19件、次いで「境港」が14件、「大阪港」及び「関西国際空港」がそれぞれ5件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① 神戸港	19件	34.9%
② 境港	14件	22.6%
③ 大阪港	5件	8.1%
③ 関西国際空港	5件	8.1%
⑤ 東京港	2件	3.2%
⑤ 名古屋港	2件	3.2%
⑤ 広島港	2件	3.2%
その他	13件	—
回答数の計	62件	—



[その他の内訳]

回答内容（自由記載）	回答数
下関港、鳥取港、博多港、福岡、舞鶴港、門司港、横浜港、全国、上海、天津、深圳 塩田、アモイ、ホーチミン	各1件

オ 輸入の際に利用した港湾・空港の利用理由

3- (1) において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）の利用理由を尋ねたところ、次のとおりだった。

【集計結果※】

	A 取引商社 等の都合	B 便数が 多い	C 直行便 がある	D 運賃が 安い	E サービス (手続き) が良い	F その他	回答数
① 神戸港	7件	9件	6件	6件			19件
② 境港	3件		3件	1件	1件	7件	15件
③ 大阪港	2件	2件			1件	2件	5件
③ 関西国際空港	3件	4件	3件	2件			5件
⑤ 東京港	1件					1件	2件
⑤ 名古屋港	2件						2件
⑤ 広島港						2件	2件

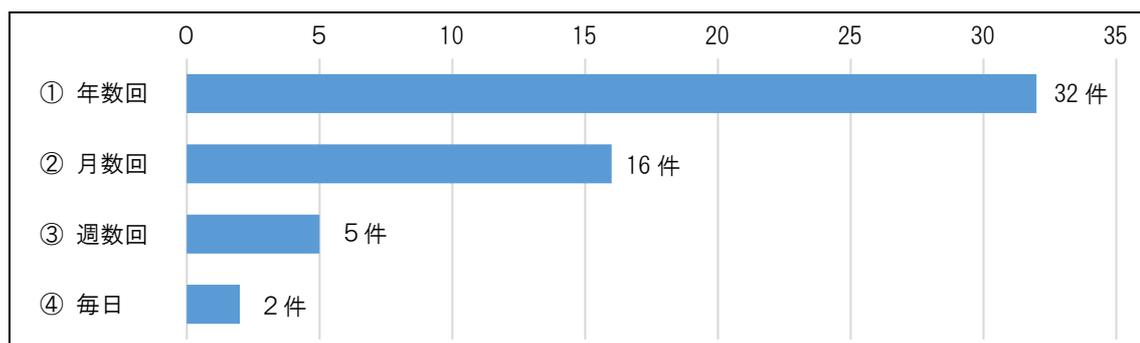
※各企業が港湾・空港の利用理由を複数回答により回答しているため、回答件数の合計と回答企業数とは一致していません。

カ 輸入の際に利用した港湾・空港の利用頻度

3- (1) において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入の際に利用した主な港湾・空港（2つ以内）の利用頻度を尋ねたところ、「年数回」が最も多く32件、次いで「月数回」が16件、「週数回」が5件の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答数	回答割合
① 年数回	32件	58.2%
② 月数回	16件	29.1%
③ 週数回	5件	9.1%
④ 毎日	2件	3.2%
回答数の計	55件	—

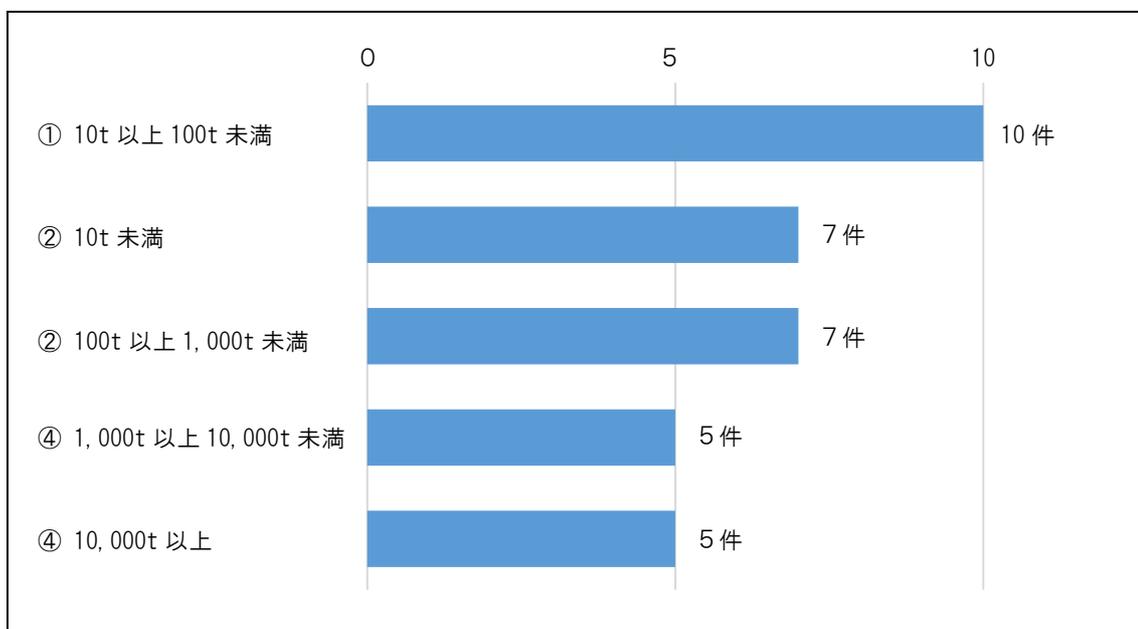


キ 貨物量

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」と回答した31社に対して、輸入額の大きい上位3ヵ国・地域からの輸入の際に利用した主な港湾・空港(2つ以内)の貨物量を尋ねたところ、「10t以上100t未満」が最も多く10件、次いで「10t未満」及び「100t以上1,000t未満」がそれぞれ7件の順だった。

【集計結果】

回答内容(選択肢)	回答数	回答割合
① 10t以上100t未満	10件	29.4%
② 10t未満	7件	20.6%
② 100t以上1,000t未満	7件	20.6%
④ 1,000t以上10,000t未満	5件	14.7%
④ 10,000t以上	5件	14.7%
回答数の計	34件	—



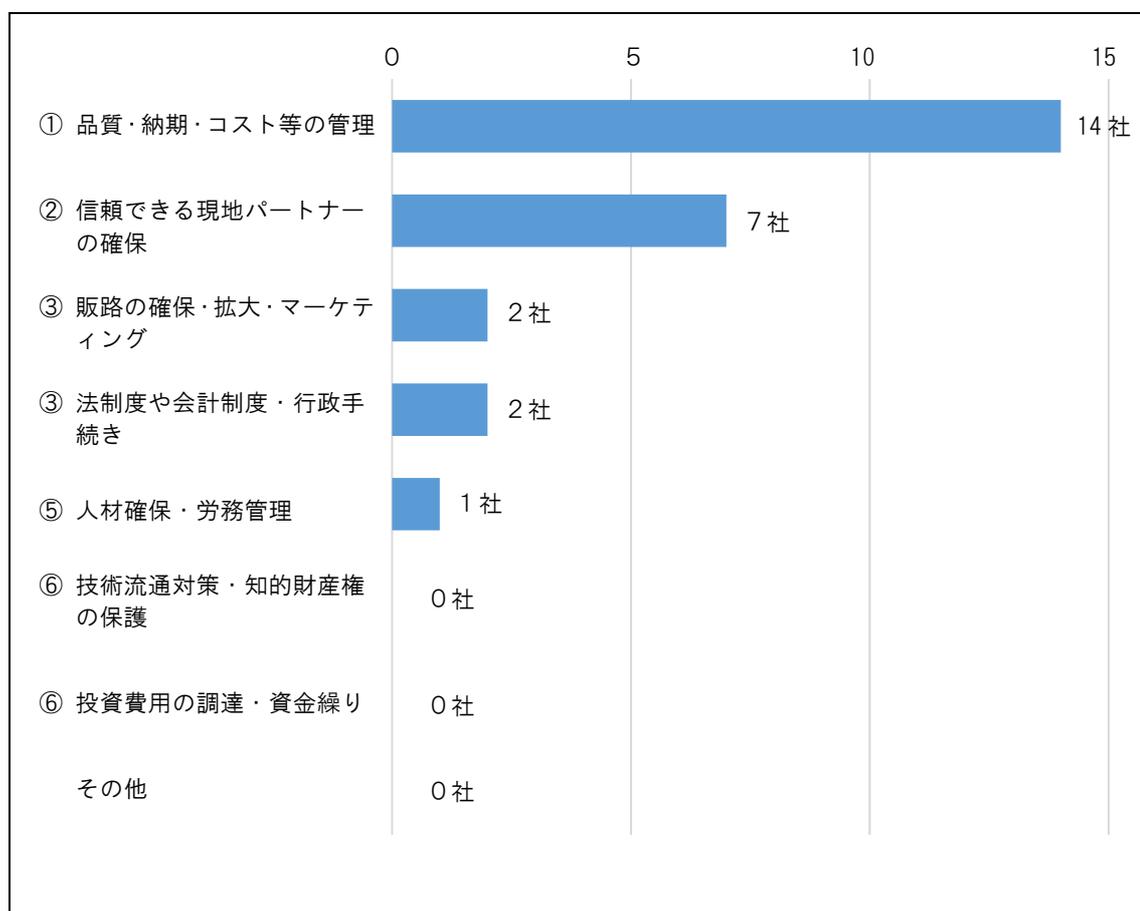
(3) 輸入における課題、必要とする支援策

ア 輸入を行った際に感じた課題

3- (1) において、「2020年に輸入実績がある」及び「過去に輸入実績がある」と回答した43社に対して、輸入を行った際に感じた課題について尋ねたところ、「品質・納期・コスト等の管理」が最も多く14社(32.6%)、次いで「信頼できる現地パートナーの確保」が7社(16.3%)、「販路の確保・拡大・マーケティング」及び「法制度や会計制度・行政手続き」がそれぞれ2社(4.7%)の順だった。

【集計結果(複数回答)】

回答内容(選択肢)	回答企業数	回答割合
① 品質・納期・コスト等の管理	14社	32.6%
② 信頼できる現地パートナーの確保	7社	16.3%
③ 販路の確保・拡大・マーケティング	2社	4.7%
③ 法制度や会計制度・行政手続き	2社	4.7%
⑤ 人材確保・労務管理	1社	2.3%
⑥ 技術流通対策・知的財産権の保護	0社	0.0%
⑥ 投資費用の調達・資金繰り	0社	0.0%
その他	0社	—
回答対象企業数	43社	—

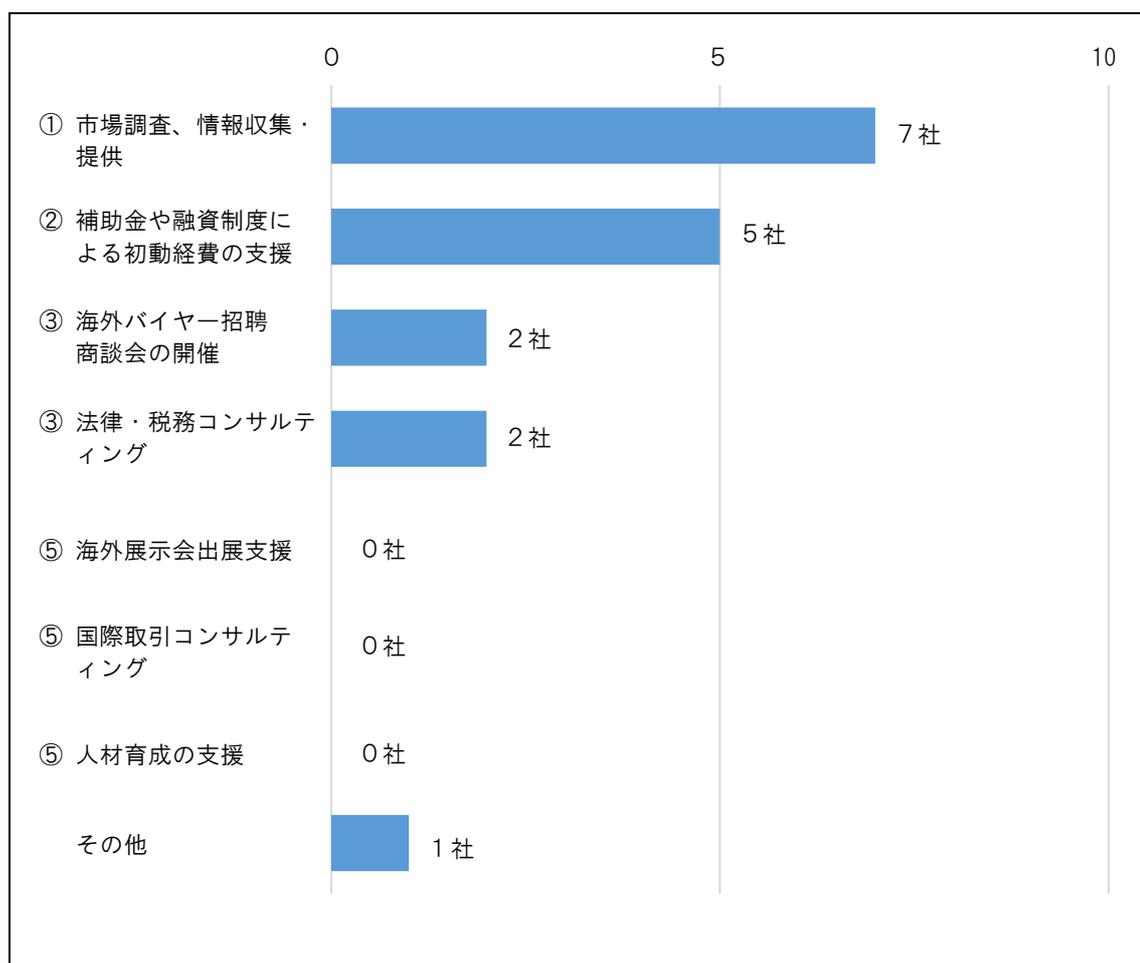


イ 輸入を行う際に必要とする支援策

3-(1)において、「2020年に輸入実績がある」及び「過去に輸入実績がある」と回答した43社に対して、輸入を行う際に必要とする支援策について尋ねたところ、「市場調査、情報収集・提供」が最も多く7社(16.3%)、次いで「補助金や融資制度による初動経費の支援」が5社(11.6%)、「海外バイヤー招聘商談会の開催」及び「法律・税務コンサルティング」がそれぞれ2社(4.7%)の順だった。

【集計結果(複数回答)】

回答内容(選択肢)	回答企業数	回答割合
① 市場調査、情報収集・提供	7社	16.3%
② 補助金や融資制度による初動経費の支援	5社	11.6%
③ 海外バイヤー招聘商談会の開催	2社	4.7%
③ 法律・税務コンサルティング	2社	4.7%
⑤ 海外展示会出展支援	0社	0.0%
⑤ 国際取引コンサルティング	0社	0.0%
⑤ 人材育成の支援	0社	0.0%
その他	1社	—
回答対象企業数	43社	—



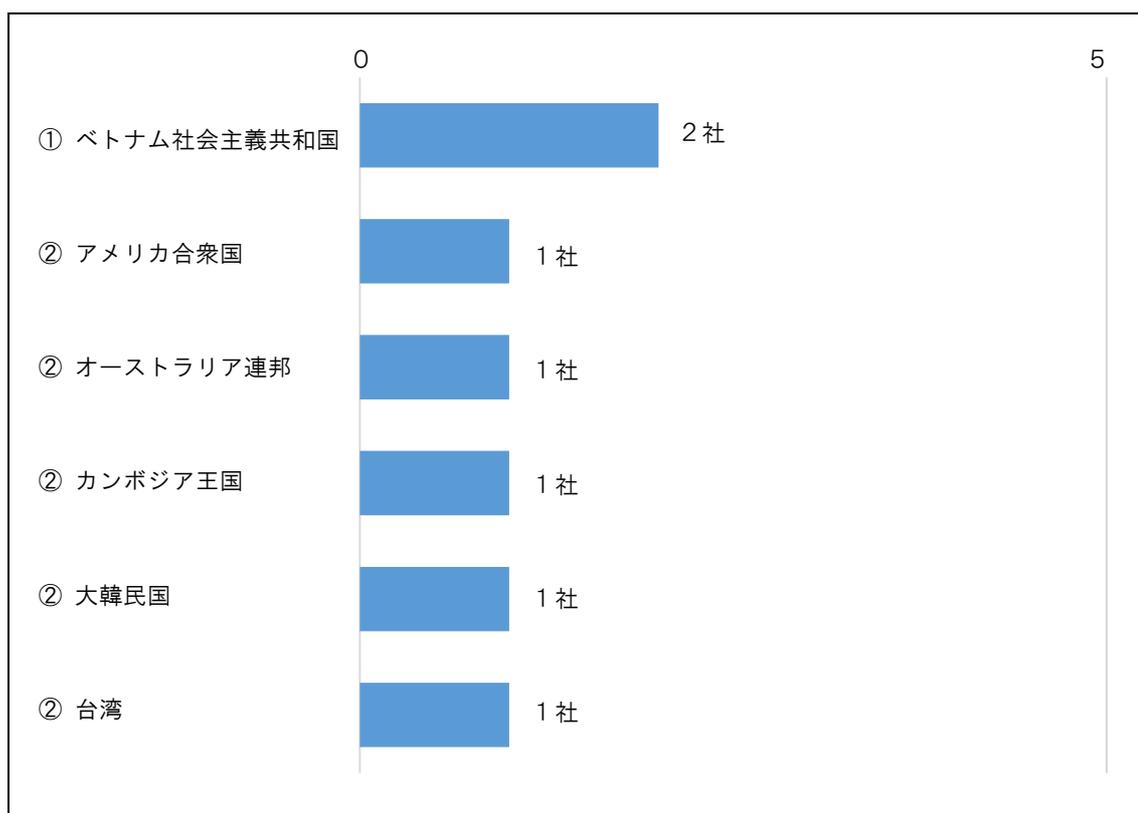
(4) 今後の新規輸入計画

ア 新規輸入計画に係る輸入先（複数記載可）

3-（1）において、「2020年に輸入実績がある」及び「過去に輸入実績がある」と回答した43社に対して、今後の新規輸入計画に係る輸入先（3つ以内）を尋ねたところ、「ベトナム社会主義共和国」が2件、次いで「アメリカ合衆国」、「オーストラリア連邦」、「カンボジア王国」、「大韓民国」及び「台湾」がそれぞれ1件だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① ベトナム社会主義共和国	2件	28.6%
② アメリカ合衆国	1件	14.3%
② オーストラリア連邦	1件	14.3%
② カンボジア王国	1件	14.3%
② 大韓民国	1件	14.3%
② 台湾	1件	14.3%
回答数の計	7件	—



イ 新規輸入計画に係る輸入品目（複数選択可）

2-(1)において、「2020年に輸入実績がある」及び「過去に輸入実績がある」と回答した43社に対して、今後の新規輸入計画に係る輸入品目について尋ねたところ、次のとおりだった。

【集計結果】

	A 食品	B 繊維	C 木材・ 製紙	D 家具・ 装飾	E 機械・ 金属	F 技術・ サービス	G その他	回答数
① ベトナム社会主義共和国		1件					1件	2件
② アメリカ合衆国	1件							1件
② オーストラリア連邦	1件							1件
③ カンボジア王国							1件	1件
③ 大韓民国							1件	1件
③ 台湾	1件							1件

4 海外進出・展開事業[※]の状況

※本調査における「海外進出・展開事業」の定義（再掲）

… 本調査では、「海外進出・展開事業」を「海外に駐在員事務所、支店、100%出資の子会社、合弁会社などの進出拠点を設置して、現地で直接事業を行うこと及び外国企業への生産委託、技術供与の提携を行うこと」と定義することとします。

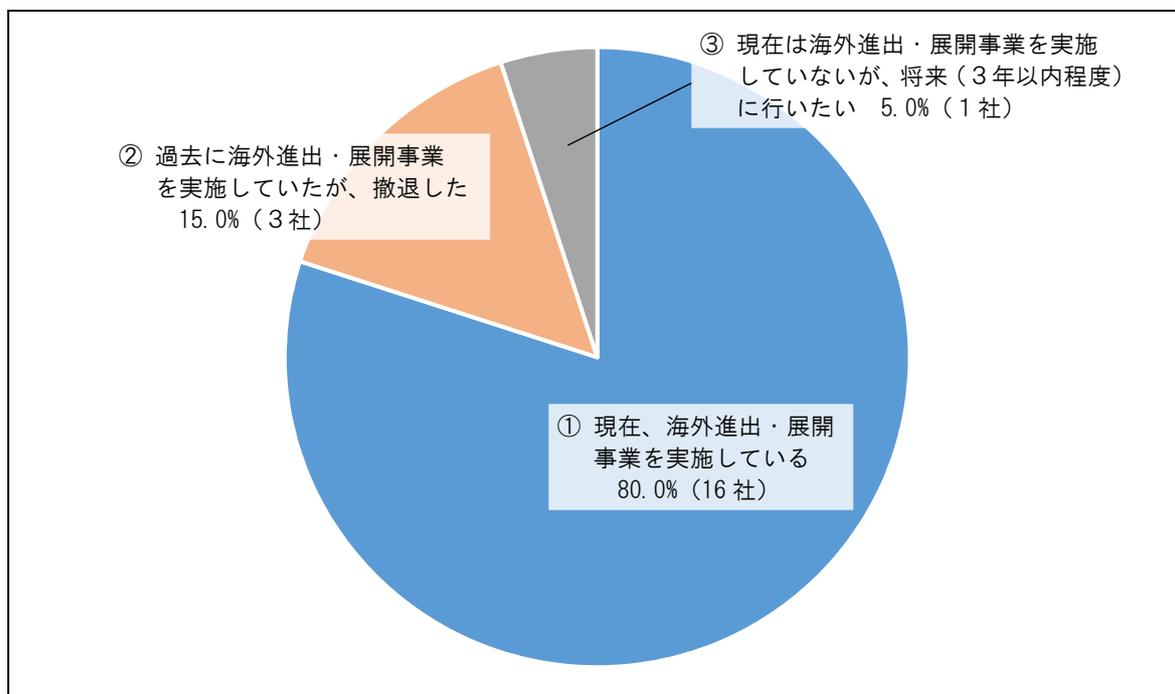
(1) 海外進出・展開事業の実績及び今後の予定（当てはまるものを一つ選択）

1 - (1) において「国際取引の実績又は計画がある」と回答した92社に対して、海外進出・展開事業の実績及び今後の予定を尋ねたところ20社から回答があった。

結果は、「現在、海外進出・展開事業を実施している」が16社（80.0%）、「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」が3社（15.0%）、「現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい」は1社（5.0%）だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 現在、海外進出・展開事業を実施している	16社	80.0%
② 過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した	3社	15.0%
③ 現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい	1社	5.0%
④ 実績も計画もない	0社	0.0%
回答企業数	20社	100.0%



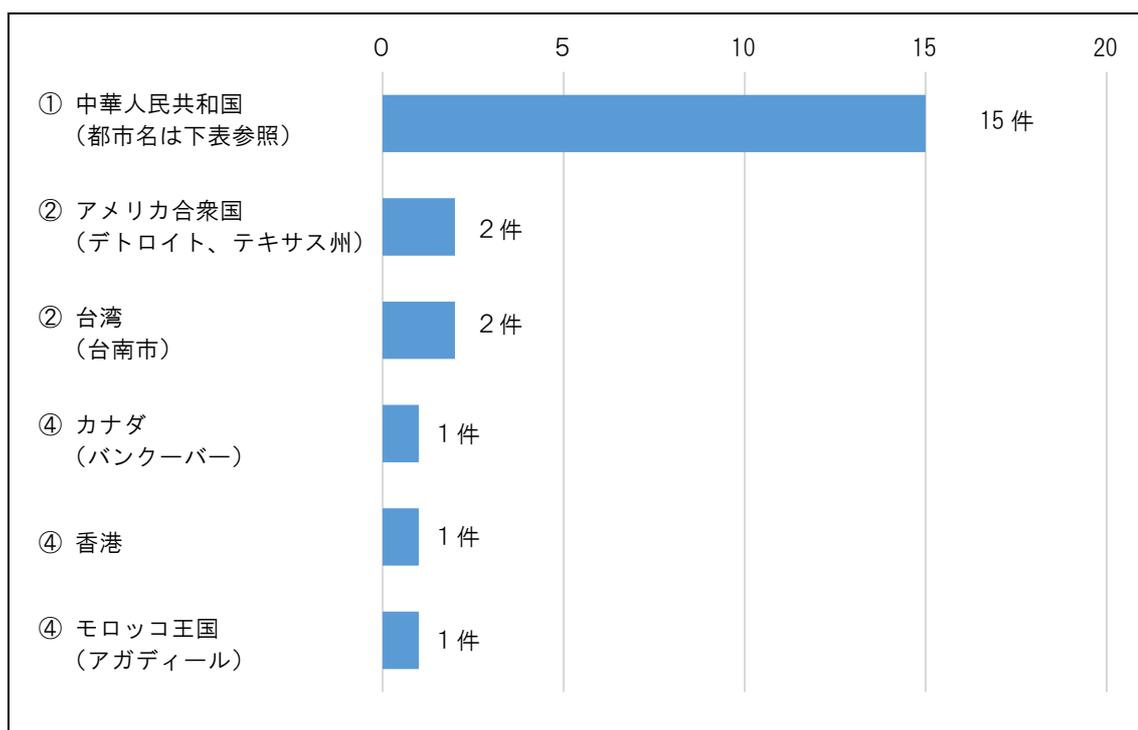
(2) 現在実施している海外進出・展開事業の状況

ア 海外進出・展開先の主な国・地域（自由記載可）

4- (1) において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した 16 社に対して、海外進出・展開事業を実施している主な国・地域（2つ以内）を尋ねたところ、「中華人民共和国」が最も多く 15 件、次いで「アメリカ合衆国」及び、「台湾」がそれぞれ 2 件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① 中華人民共和国（都市名は下表参照）	15 件	71.4%
② アメリカ合衆国（デトロイト、テキサス州）	2 件	9.5%
② 台湾（台南市、高雄（たかお）市）	2 件	9.5%
④ カナダ（バンクーバー）	1 件	4.8%
④ 香港	1 件	4.8%
④ モロッコ王国（アガディール）	1 件	4.8%
回答数の計	21 件	—



[中華人民共和国における進出先の都市名]

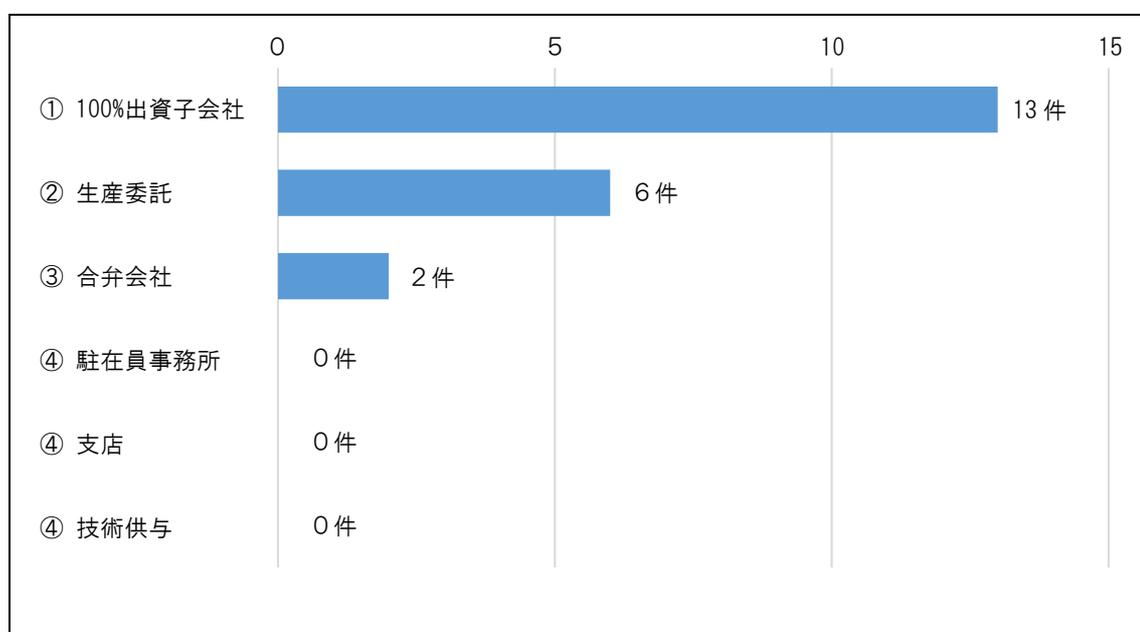
回答内容（自由記載）	回答数
上海市、大連市、唐山（とうざん）市、	各 2 件
昆山（こうざん）市、珠海（しゅかい）市、天津市、東莞（とうかん）市、南通（なんつう）市、無錫（むしゃく）市、広州省、浙江省、涿州（らいつう）県	各 1 件

イ 海外進出・展開事業の形態

4-（1）において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の形態を尋ねたところ、「100%出資子会社」が最も多く13件、次いで「生産委託」が6件、「合弁会社」が2件の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答数	回答割合
① 100%出資子会社	13件	61.9%
② 生産委託	6件	28.6%
③ 合弁会社	2件	9.5%
④ 駐在員事務所	0件	0.0%
④ 支店	0件	0.0%
④ 技術供与	0件	0.0%
回答数の計	21件	—



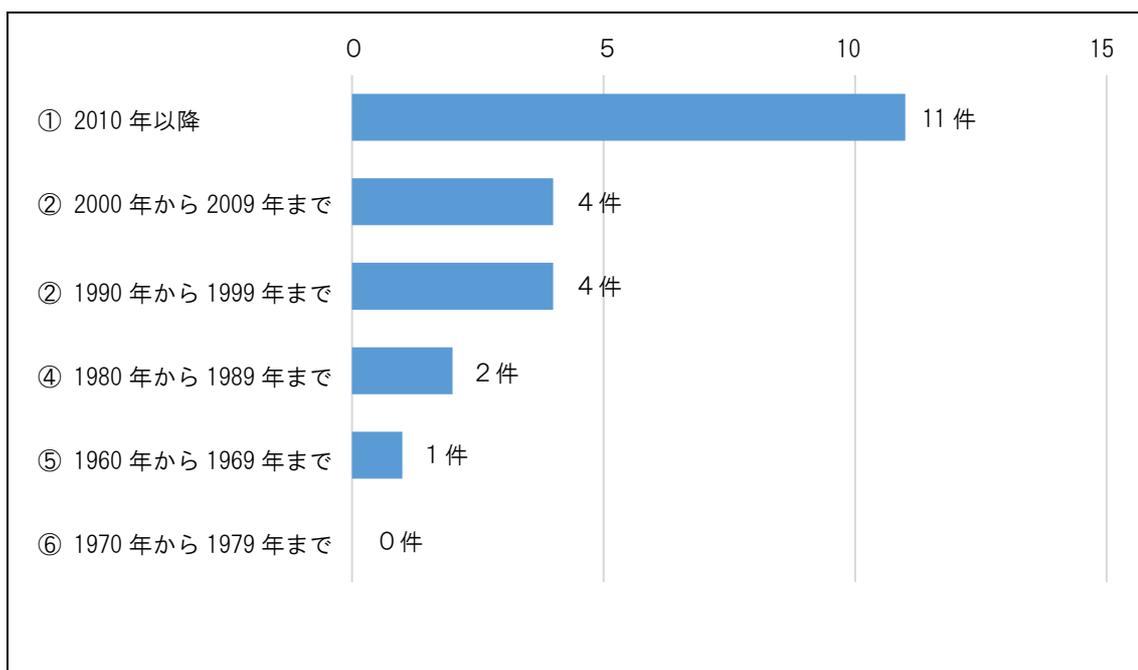
ウ 海外進出・展開事業の形態

4-(1)において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の実施年を尋ねたところ、「2010年以降」が最も多く11件、次いで「2000年から2009年まで」及び「1990年から1999年まで」がそれぞれ4件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）※	回答数	回答割合
① 2010年以降	11件	50.0%
② 2000年から2009年まで	4件	18.2%
② 1990年から1999年まで	4件	18.2%
④ 1980年から1989年まで	2件	9.1%
⑤ 1960年から1969年まで	1件	4.5%
⑥ 1970年から1979年まで	0件	0.0%
回答数の計	22件	—

※各企業が回答した実施年を県が上記の分類により整理して集計した。



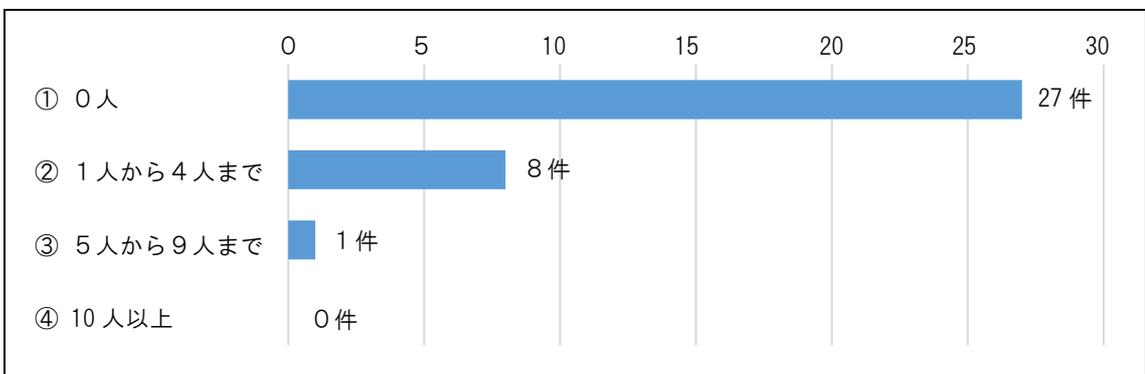
エ 海外進出・展開事業の派遣職員数

4-(1)において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の派遣職員数を尋ねたところ、「0人」が最も多く27件、次いで「1人から4人まで」が8件、「5人から9人まで」が1件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）※	回答数	回答割合
① 0人	27件	75.0%
② 1人から4人まで	8件	22.2%
③ 5人から9人まで	1件	2.8%
④ 10人以上	0件	0.0%
回答数の計	36件	—

※各企業が回答した人数を県が上記の分類により整理して集計した。



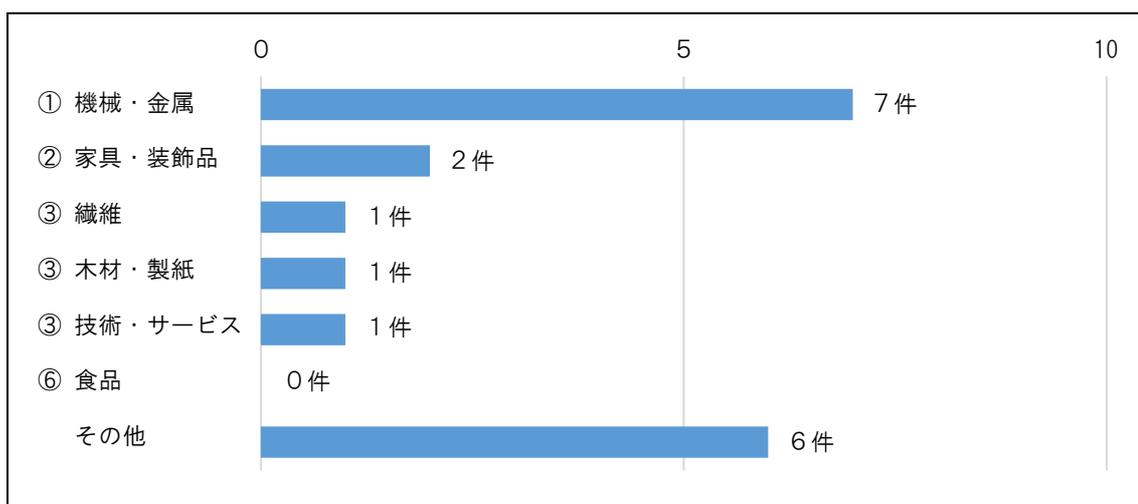
オ 海外進出・展開事業の主な取扱製品・サービス

4-(1)において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」と回答した16社に対して、当該事業の主な取扱製品・サービスを尋ねたところ、「機械・金属」が最も多く7件、次いで「家具・装飾品」が2件、「繊維」、「木材・製紙」及び「技術・サービス」がそれぞれ1件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）※	回答数	回答割合
① 機械・金属	7件	38.9%
② 家具・装飾品	2件	11.1%
③ 繊維	1件	5.6%
③ 木材・製紙	1件	5.6%
③ 技術・サービス	1件	5.6%
⑥ 食品	0件	0.0%
その他	6件	—
回答数の計	18件	—

※各企業が回答した具体的な取扱製品・サービスを県が上記の分類により整理して集計した。



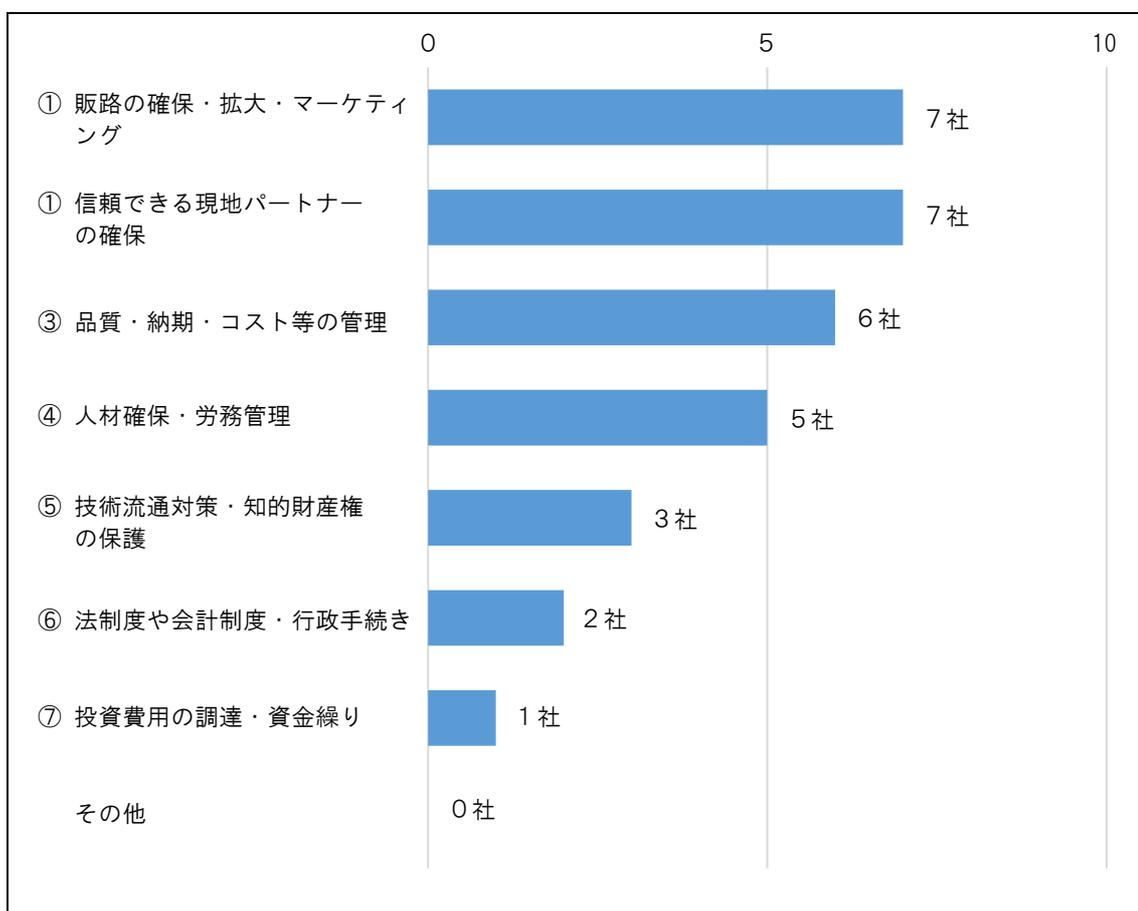
(3) 海外進出・展開事業における課題、必要とする支援策

ア 海外進出・展開事業を実施した際に感じた課題（複数選択可）

4- (1) において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」又は「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」と回答した19社に対して、海外進出・展開事業を実施した際に感じた課題について尋ねたところ、「販路の確保・拡大・マーケティング」及び「信頼できる現地パートナーの確保」が最も多くそれぞれ7社（36.7%）、次いで「品質・納期・コスト等の管理」が6社（31.6%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 販路の確保・拡大・マーケティング	7社	36.7%
① 信頼できる現地パートナーの確保	7社	36.7%
③ 品質・納期・コスト等の管理	6社	31.6%
④ 人材確保・労務管理	5社	26.3%
⑤ 技術流通対策・知的財産権の保護	3社	15.8%
⑥ 法制度や会計制度・行政手続き	2社	10.5%
⑦ 投資費用の調達・資金繰り	1社	5.3%
その他	0社	—
回答対象企業数	19社	—

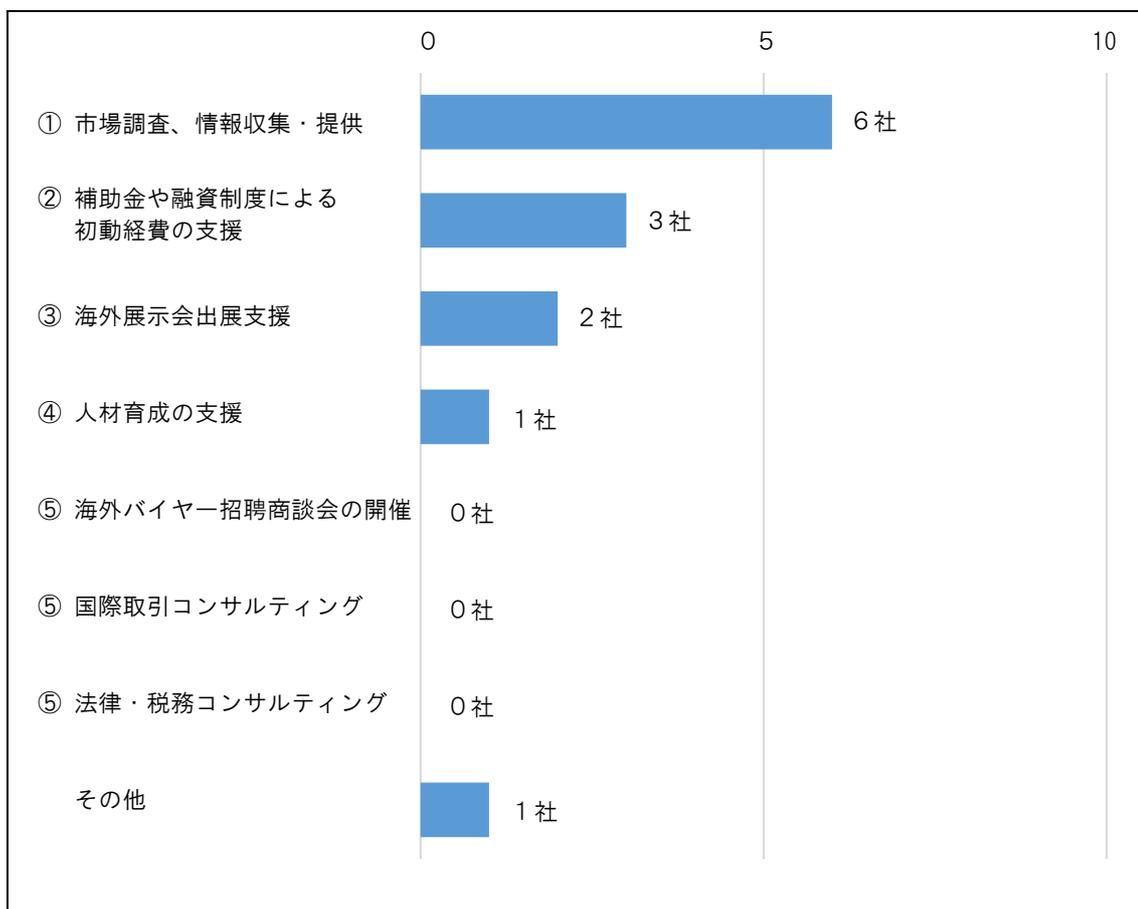


イ 海外進出・展開事業を実施する際に必要とする支援策（複数選択可）

4-（1）において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」又は「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」又は「現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい」と回答した20社に対して、海外進出・展開事業を実施する際に必要とする支援策について尋ねたところ、「市場調査、情報収集・提供」が最も多く6社（30.0%）、次いで「補助金や融資制度による初動経費の支援」が3社（15.0%）、「海外展示会出展支援」が2社（10.0%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 市場調査、情報収集・提供	6社	30.0%
② 補助金や融資制度による初動経費の支援	3社	15.0%
③ 海外展示会出展支援	2社	10.0%
④ 人材育成の支援	1社	5.0%
⑤ 海外バイヤー招聘商談会の開催	0社	0.0%
⑤ 国際取引コンサルティング	0社	0.0%
⑤ 法律・税務コンサルティング	0社	0.0%
その他	1社	—
回答対象企業数	20社	—



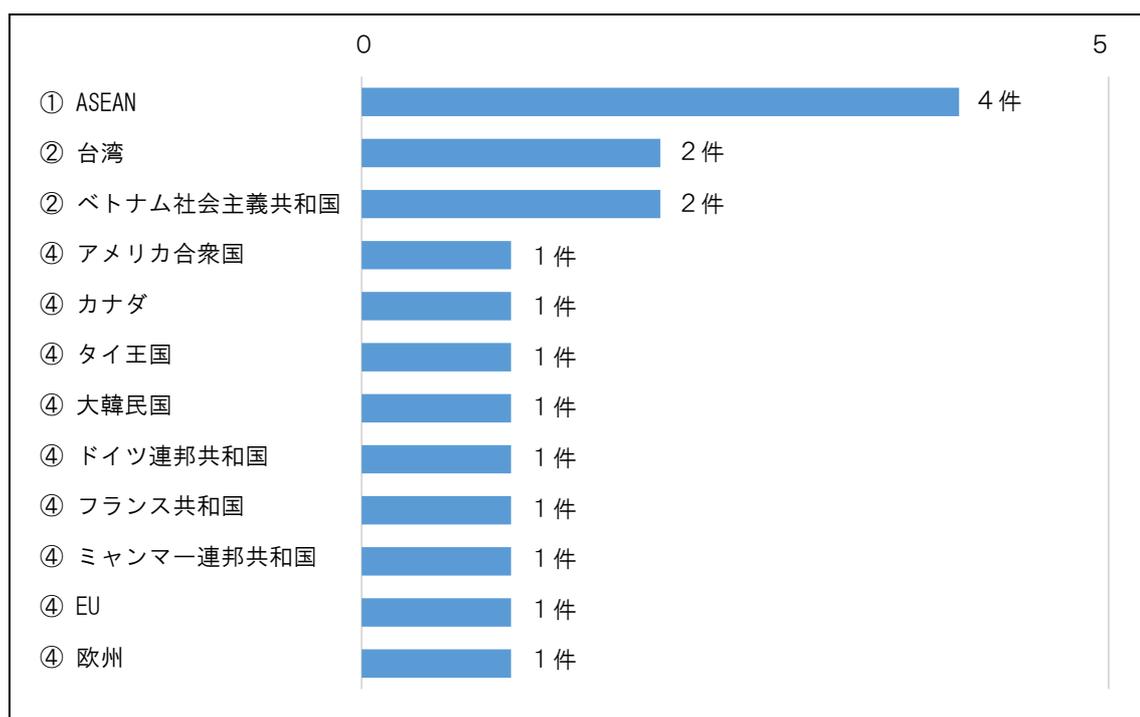
(4) 今後の新規海外進出・展開計画

ア 新規海外進出・展開先（複数記載可）

4- (1) において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」又は「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」又は「現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい」と回答した20社に対して、今後の主な新規海外進出・展開計画（2つ以内）の進出・展開先を尋ねたところ、「ASEAN」が最も多く4件、次いで「台湾」及び「ベトナム社会主義共和国」がそれぞれ2件の順だった。

【集計結果】

回答内容（自由記載）	回答数	回答割合
① ASEAN	4件	23.5%
② 台湾	2件	11.8%
② ベトナム社会主義共和国	2件	11.8%
④ アメリカ合衆国	1件	5.9%
④ カナダ	1件	5.9%
④ タイ王国	1件	5.9%
④ 大韓民国	1件	5.9%
④ ドイツ連邦共和国	1件	5.9%
④ フランス共和国	1件	5.9%
④ ミャンマー連邦共和国	1件	5.9%
④ EU	1件	5.9%
④ 欧州	1件	5.9%
回答数の計	17件	—



イ 新規海外進出・展開計画の進出・展開形態（当てはまるもの一つ選択）

4－（1）において、「現在、海外進出・展開事業を実施している」又は「過去に海外進出・展開事業を実施していたが、撤退した」又は「現在は海外進出・展開事業を実施していないが、将来（3年以内程度）に行いたい」と回答した20社に対して、今後の主な新規海外進出・展開計画（2つ以内）の係る進出・展開形態を尋ねたところ、次のとおりだった。

【集計結果】

	A 駐在員 事務所	B 100%出資 子会社	C 支店	D 合併 会社	E 生産 委託	F 技術 供与	G 販売 代理店	回答数
① ASEAN				1件		3件		4件
② 台湾	1件				1件			2件
② ベトナム社会主義共和国					1件		1件	2件
④ アメリカ合衆国		1件						1件
④ カナダ		1件						1件
④ タイ王国	1件							1件
④ 大韓民国					1件			1件
④ ドイツ連邦共和国							1件	1件
④ フランス共和国							1件	1件
④ ミャンマー連邦共和国							1件	1件
④ EU				1件				1件
④ 欧州							1件	1件

5 新型コロナウイルス感染症による影響、海外展開におけるオンラインの活用状況

(1) 新型コロナウイルス感染症による影響

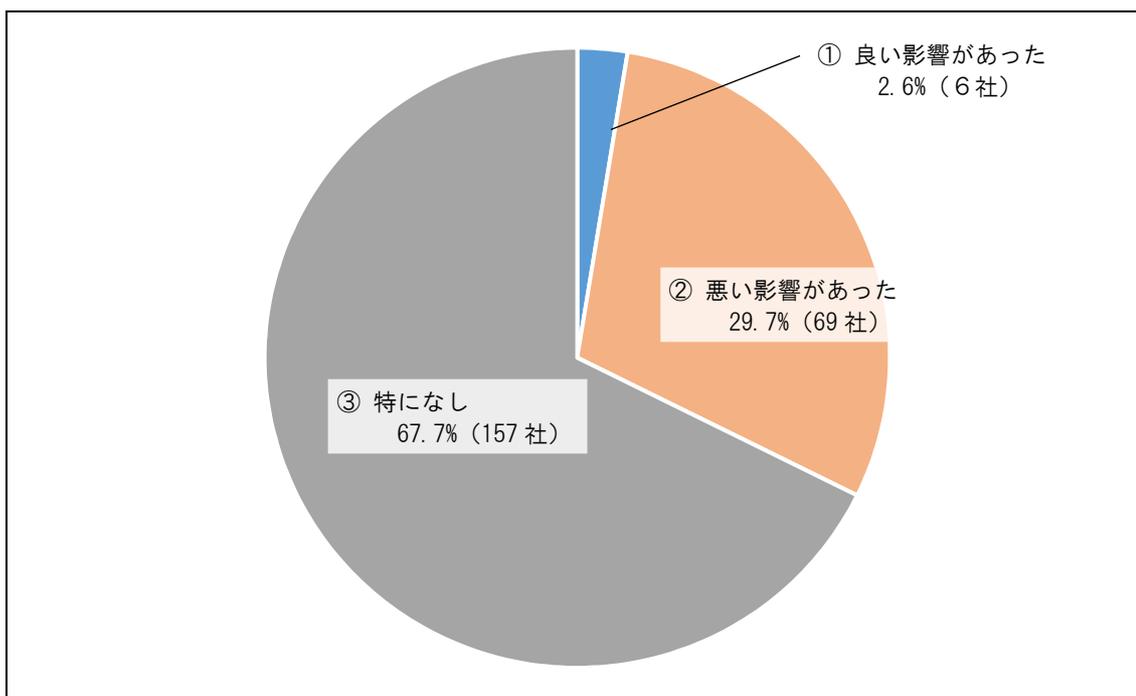
ア 海外進出事業への影響（当てはまるものを一つ選択）

県内企業 249 社に対して、新型コロナウイルス感染症による海外展開事業への影響の有無を尋ねたところ 232 社から回答があった。

結果は、「良い影響があった」が 6 社 (2.6%)、「悪い影響があった」が 69 社 (29.7%)、「特になし」が 157 社 (67.7%) だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 良い影響があった	6 社	2.6%
② 悪い影響があった	69 社	29.7%
③ 特になし	157 社	67.7%
回答企業数	232 社	100.0%

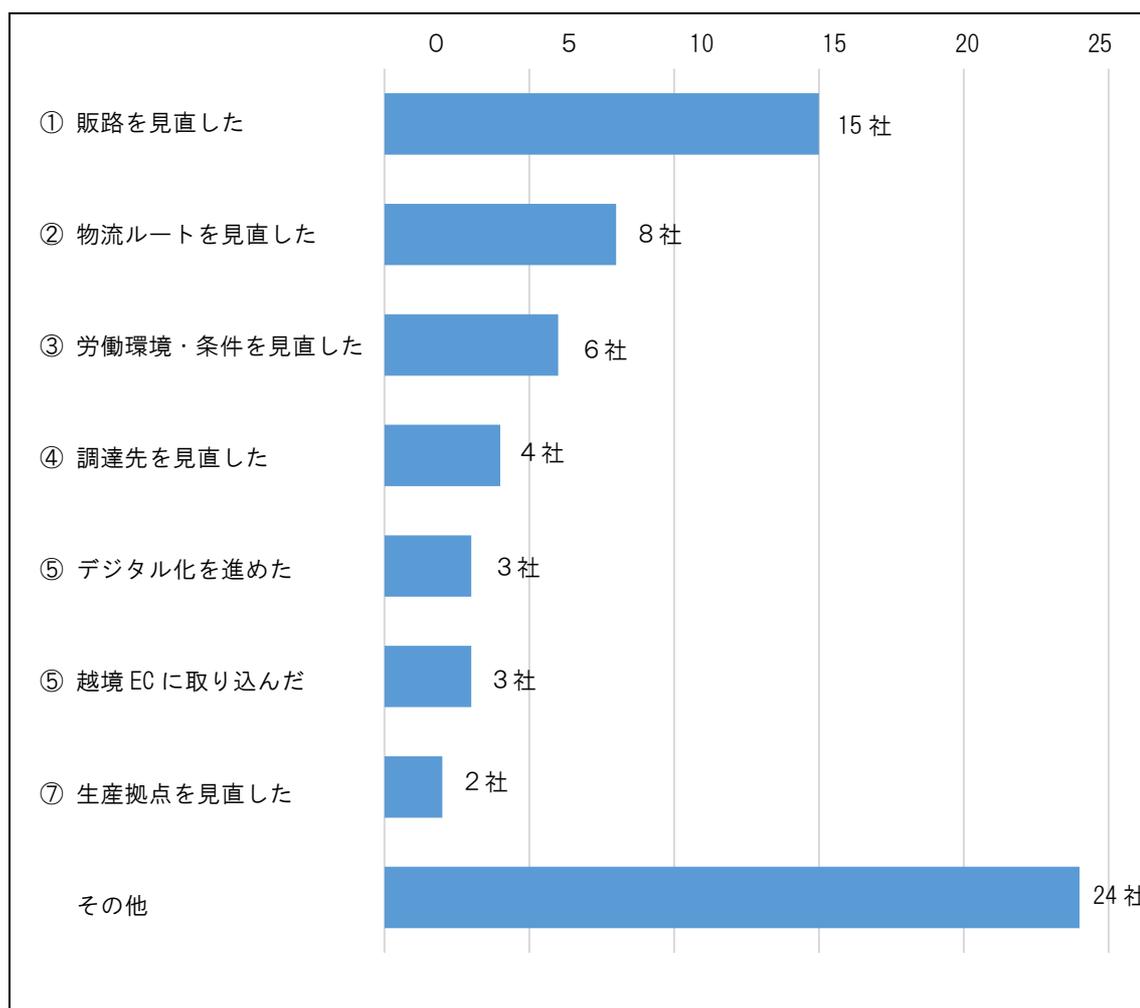


イ 悪い影響に対して講じた対応策（複数選択可）

5-（1）において、新型コロナウイルス感染症により海外展開事業へ「悪い影響があった」と回答した企業 69 社に対して、悪い影響に対して講じた対応策を尋ねたところ、「販路を見直した」が最も多く 15 社（21.7%）、次いで「物流ルートを見直した」が 8 社（11.6%）、「労働環境・条件を見直した」が 6 社（8.7%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 販路を見直した	15 社	21.7%
② 物流ルートを見直した	8 社	11.6%
③ 労働環境・条件を見直した	6 社	8.7%
④ 調達先を見直した	4 社	5.8%
⑤ デジタル化を進めた	3 社	4.3%
⑤ 越境 EC に取り込んだ	3 社	4.3%
⑦ 生産拠点を見直した	2 社	2.9%
その他	24 社	—
回答対象企業数	69 社	—



(2) 海外展開におけるオンラインの活用状況

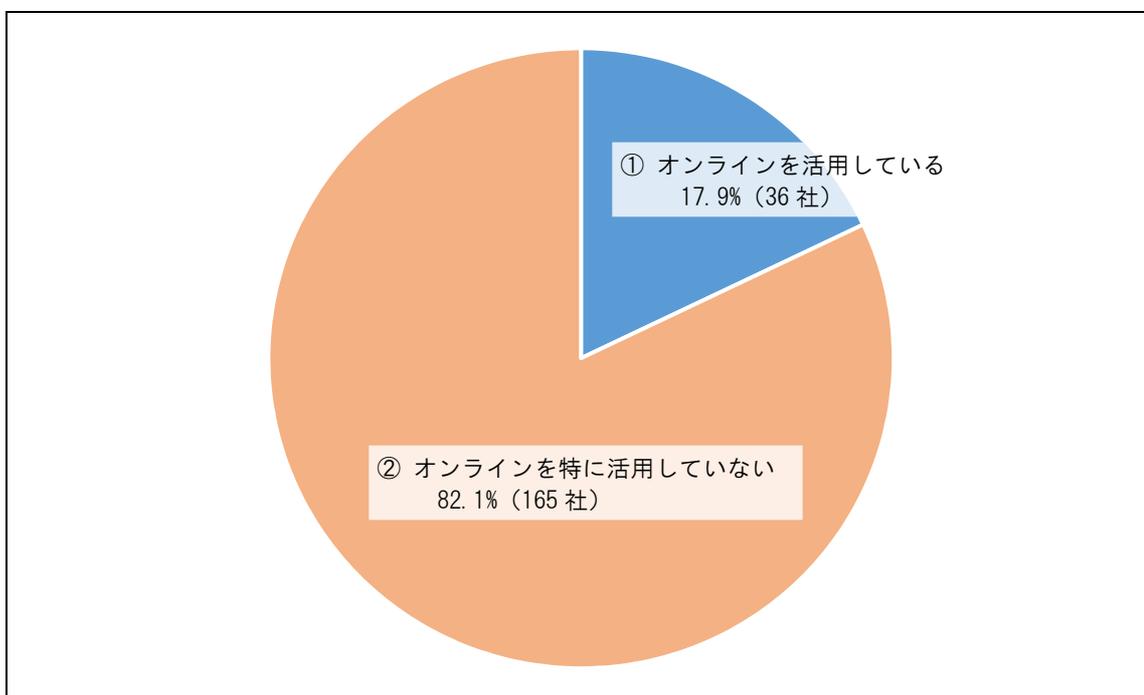
ア 海外展開におけるオンライン活用の有無（当てはまるものを一つ選択）

県内企業 249 社に対して、海外展開においてオンラインの活用状況を尋ねたところ 201 社から回答があった。

結果は、「活用している」が 36 社(17.9%)、「特に活用していない」が 165 社(82.1%) だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① オンラインを活用している	36 社	17.9%
② オンラインを特に活用していない	165 社	82.1%
回答企業数	201 社	100.0%

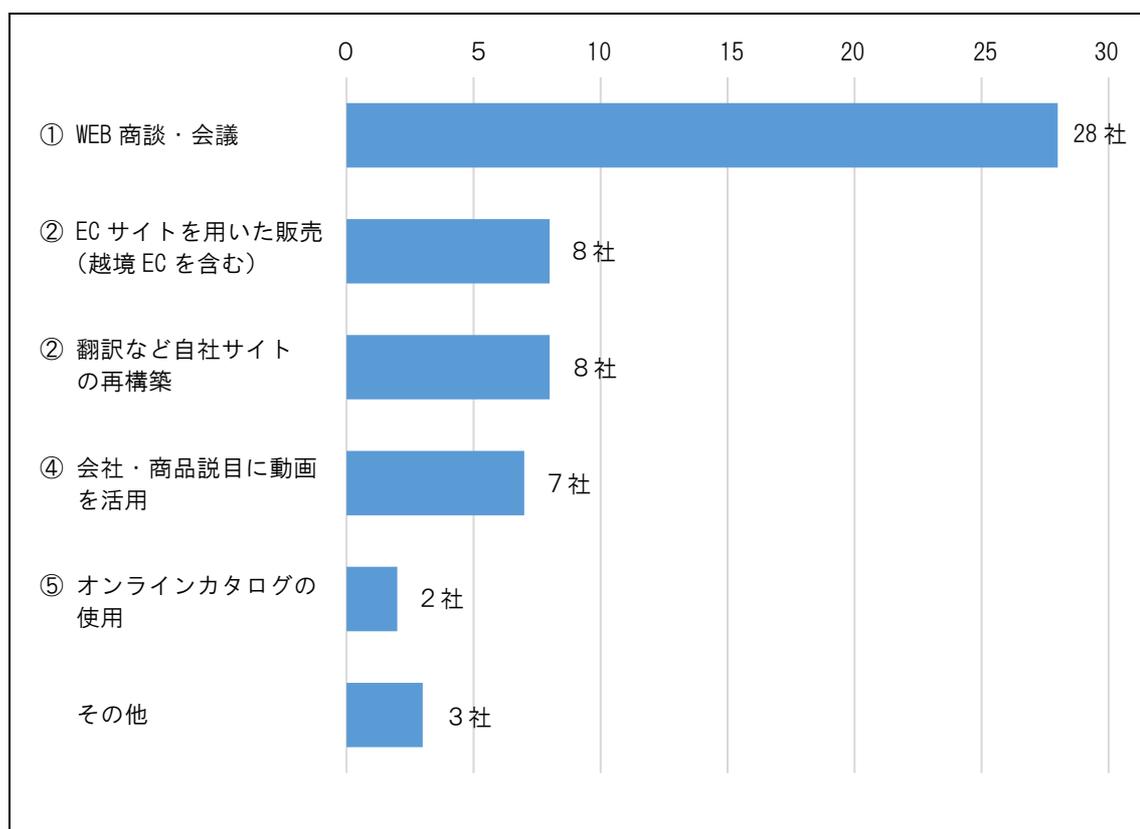


イ 海外展開におけるオンライン活用の方法（複数選択可）

アにおいて、「オンラインを活用している」と回答した 36 社に対して、活用方法を尋ねたところ、「WEB 商談・会議」が最も多く 28 社（77.8%）、次いで「EC サイトを用いた販売（越境 EC を含む）」及び「翻訳など自社サイトの再構築」がそれぞれ 8 社（22.2%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① WEB 商談・会議	28 社	77.8%
② EC サイトを用いた販売（越境 EC を含む）	8 社	22.2%
② 翻訳など自社サイトの再構築	8 社	22.2%
④ 会社・商品説目に動画を活用	7 社	19.4%
⑤ オンラインカタログの使用	2 社	5.6%
その他	3 社	—
回答対象企業数	36 社	—

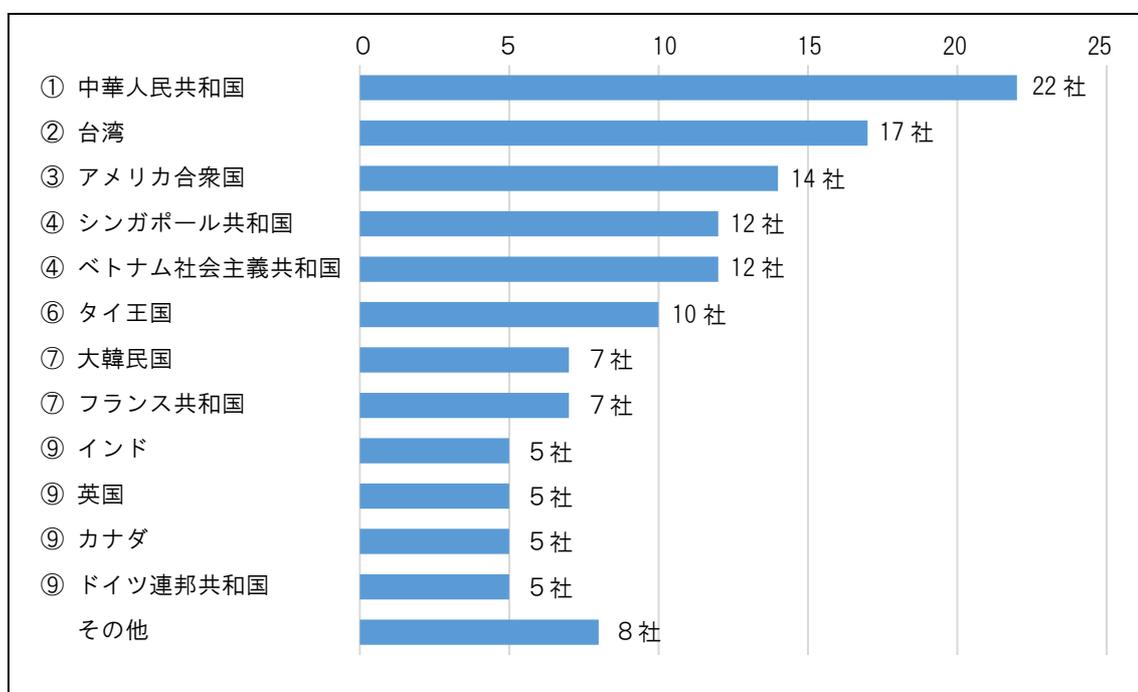


ウ オンラインによる海外展開先（複数選択可）

アにおいて、「オンラインを活用している」と回答した 36 社に対して、活用している海外展開先を尋ねたところ、「中華人民共和国」が最も多く 22 社（61.1%）、次いで「台湾」が 17 社（47.2%）、「アメリカ合衆国」が 14 社（38.9%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① 中華人民共和国	22 社	61.1%
② 台湾	17 社	47.2%
③ アメリカ合衆国	14 社	38.9%
④ シンガポール共和国	12 社	33.3%
④ ベトナム社会主義共和国	12 社	33.3%
⑥ タイ王国	10 社	27.8%
⑦ 大韓民国	7 社	19.4%
⑦ フランス共和国	7 社	19.4%
⑨ インド	5 社	13.9%
⑨ 英国	5 社	13.9%
⑨ カナダ	5 社	13.9%
⑨ ドイツ連邦共和国	5 社	13.9%
その他	8 社	—
回答対象企業数	36 社	—



[その他の内訳]

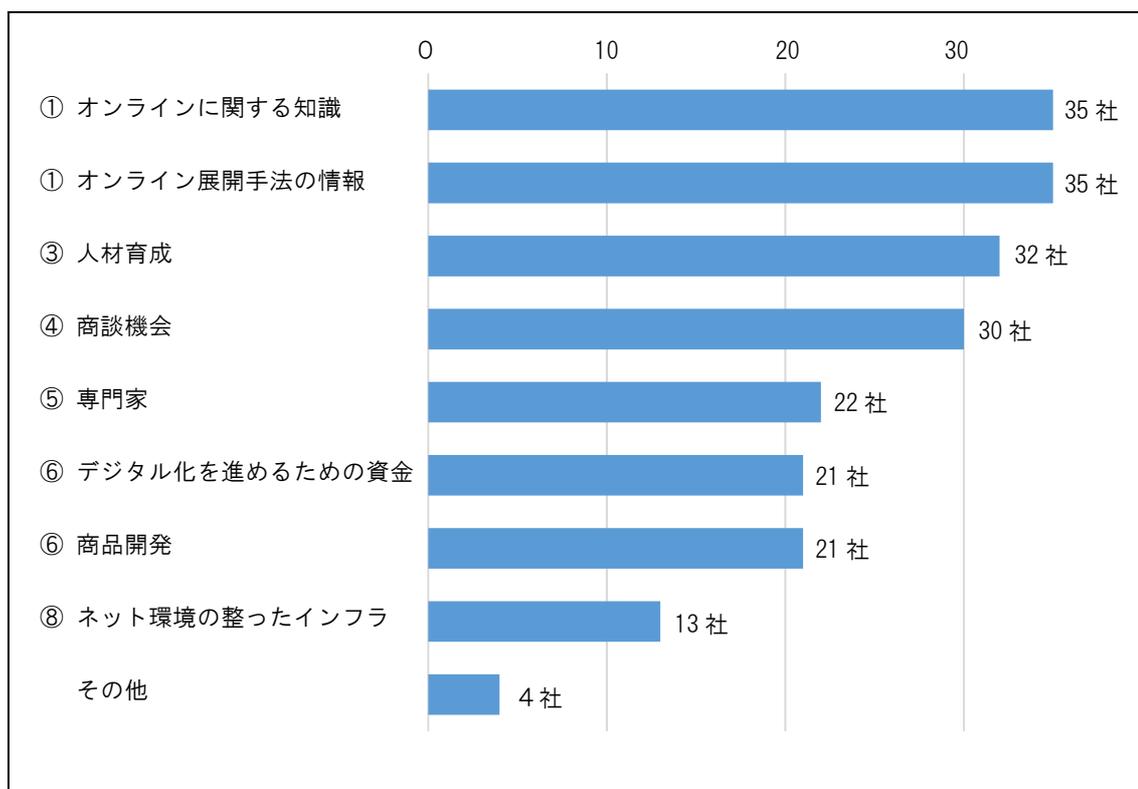
回答内容（自由記載）	回答数
イタリア共和国、ロシア連邦	各 4 社

エ オンラインによる海外展開を進める上での課題・必要な支援策（複数選択可）

アにおいて、「オンラインを活用している」と回答した 36 社に対して、オンラインによる海外展開先を進める上での課題・必要な支援策を尋ねたところ、「オンラインに関する知識」及び「オンライン展開手法の情報」が最も多くそれぞれ 35 社（97.2%）、次いで「人材育成」が 32 社（88.9%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① オンラインに関する知識	35 社	97.2%
① オンライン展開手法の情報	35 社	88.9%
③ 人材育成	32 社	88.9%
④ 商談機会	30 社	83.3%
⑤ 専門家	22 社	61.1%
⑥ デジタル化を進めるための資金	21 社	58.3%
⑥ 商品開発	21 社	58.3%
⑧ ネット環境の整ったインフラ	13 社	36.1%
その他	4 社	—
回答対象企業数	36 社	—

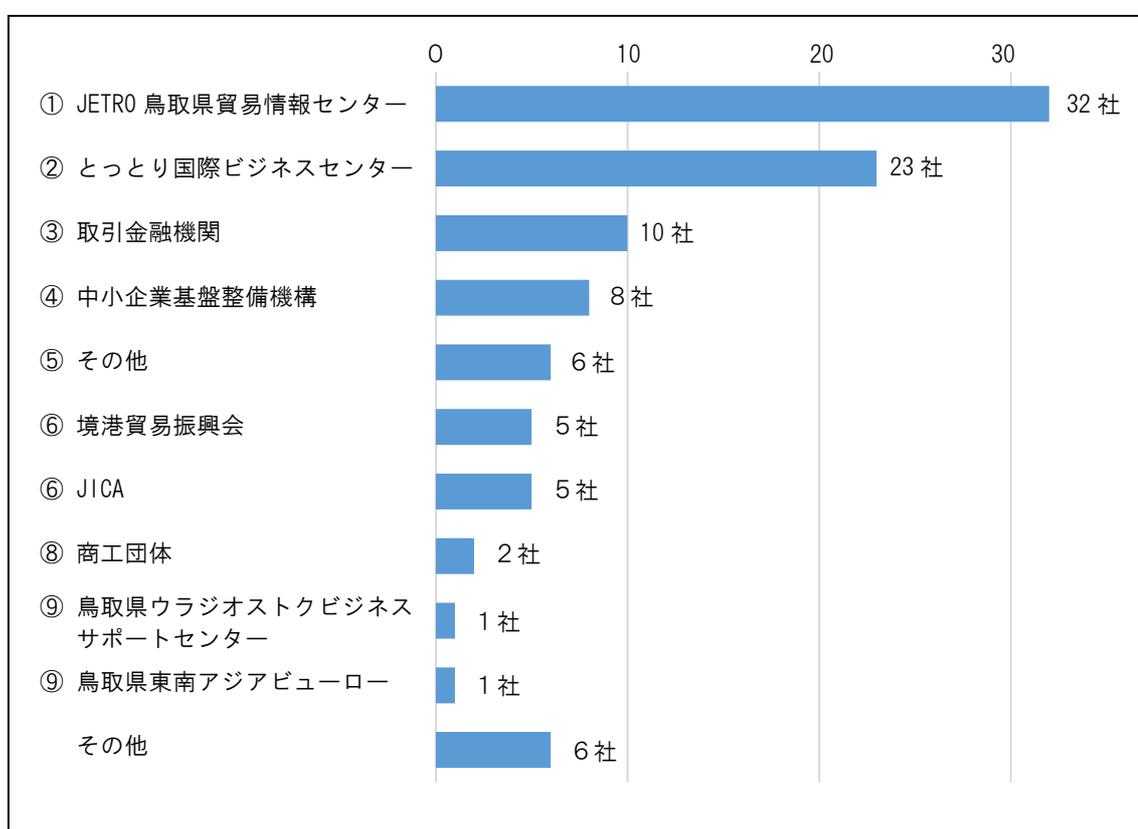


6 海外展開において利用する支援機関

1 - (1) において、「国際取引の実績及び計画がある」と回答した 92 社に対して、海外展開を実施する際に利用する支援機関を尋ねたところ、「JETRO（日本貿易振興機構）鳥取貿易情報センター」が最も多く 32 社（34.8%）、次いで「とっとり国際ビジネスセンター」が 23 社（25.0%）、「取引金融機関」が 10 社（10.9%）の順だった。

【集計結果】

回答内容（選択肢）	回答企業数	回答割合
① JETRO 鳥取県貿易情報センター	32 社	34.8%
② とっとり国際ビジネスセンター	23 社	25.0%
③ 取引金融機関	10 社	10.9%
④ 中小企業基盤整備機構	8 社	8.7%
⑤ その他	6 社	6.5%
⑥ 境港貿易振興会	5 社	5.4%
⑥ JICA	5 社	5.4%
⑧ 商工団体	2 社	2.2%
⑨ 鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター	1 社	1.1%
⑨ 鳥取県東南アジアビューロー	1 社	1.1%
その他	6 社	—
回答対象企業数	92 社	100.0%



IV 調査票

2. 貿易について（輸出）

1 輸出について、2020年（1～12月）の年間実績および今後の予定をお答えください。

- 1. 2020年（1～12月）実績がある
- 2. 過去実績あり
- 3. 過去を含め実績はないが、将来（3年以内程度）行いたい
- 4. 実績も計画もない



- 1. を選択 → 2. にお進み下さい。
- 2. または3. を選択 → 3. にお進み下さい。
- 4. を選択 → 次ページにお進み下さい。

2 2020年（1月～12月）の年間輸出状況を、輸出額の多い国ごとに、上位3カ国まで、お答えください。※数値は概算で構いません

7位	輸出国	年間輸出額	輸出品目（具体的に）		輸出の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由（複数回答可）	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

2位	輸出国	年間輸出額	輸出品目（具体的に）		輸出の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由（複数回答可）	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

3位	輸出国	年間輸出額	輸出品目（具体的に）		輸出の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由（複数回答可）	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス（手続き）が良い <input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

3 現在の貴社の輸出における課題、必要とする支援策について、お答えください。（複数回答可）

感じている課題	必要とする支援策
<input type="checkbox"/> 1. 品質・納期・コスト等の管理 <input type="checkbox"/> 2. 販路の確保・拡大・マーケティング <input type="checkbox"/> 3. 信頼できる現地パートナーの確保 <input type="checkbox"/> 4. 技術流通対策・知的財産の保護 <input type="checkbox"/> 5. 法制度や会計制度・行政手続き <input type="checkbox"/> 6. 投資費用の調達・資金繰り <input type="checkbox"/> 7. 人材確保・労務管理 <input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> 1. 市場調査、情報収集・提供 <input type="checkbox"/> 2. 海外展示会出展支援 <input type="checkbox"/> 3. 海外バイヤー・招聘商談会の開催 <input type="checkbox"/> 4. 国際取引コンサルティング <input type="checkbox"/> 5. 法律・税務コンサルティング <input type="checkbox"/> 6. 補助金や融資制度による初期経費の支援 <input type="checkbox"/> 7. 人材育成の支援 <input type="checkbox"/> 8. その他
その他の場合はその内容をご記入ください。	その他の場合はその内容をご記入ください。

4 今後、輸出を新規に行う計画がありましたら、その内容について、お答えください。

区分	輸出相手国・地域	輸出品目
①		
②		
③		

※ 相手国を特定していない場合は、地域名（ASEAN、EU、南米など）でご回答ください。

→ シート3へお進みください。

3. 貿易について（輸入）

1 輸入について、2020年(1～12月)の年間実績および今後の予定をお答えください。

1. 2020年(1～12月)実績がある
 2. 過去実績あり
 3. 過去を含め実績はないが、将来(3年以上内程度)行いたい
 4. 実績も計画もない

1. を選択 → 2 にお進み下さい。
 2. または3. を選択 → 3 にお進み下さい。
 4. を選択 → 次ページにお進み下さい。

2 2020年(1月～12月)の年間輸入状況を、輸入額の多い国ごとに、上位3カ国まで、お答えください。※数値は概算で構いません

1位	輸入国	年間輸入額	輸入品目(具体的に)		輸入の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由(複数回答可)	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

2位	輸入国	年間輸入額	輸入品目(具体的に)		輸入の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由(複数回答可)	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

3位	輸入国	年間輸入額	輸入品目(具体的に)		輸入の形態
		万円			<input type="checkbox"/> 1. 直接取引 <input type="checkbox"/> 2. 親会社・商社等を通じた間接取引 <input type="checkbox"/> 3. 直接と間接の併用
	主な利用港湾・空港	利用頻度	年間貨物量	左記の港湾・空港利用する理由(複数回答可)	
	①	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他
	②	<input type="checkbox"/> 1. 毎日 <input type="checkbox"/> 2. 週数回 <input type="checkbox"/> 3. 月数回 <input type="checkbox"/> 4. 年数回	t	<input type="checkbox"/> 1. 取引商社等の都合 <input type="checkbox"/> 3. 直行便がある <input type="checkbox"/> 5. サービス(手続き)が良い	<input type="checkbox"/> 2. 便数が多い <input type="checkbox"/> 4. 運賃が安い <input type="checkbox"/> 6. その他

3 現在の貴社の輸入における課題、必要とする支援策について、お答えください。(複数回答可)

感じている課題	必要とする支援策
<input type="checkbox"/> 1. 品質・納期・コスト等の管理 <input type="checkbox"/> 2. 販路の確保・拡大・マーケティング <input type="checkbox"/> 3. 信頼できる現地パートナーの確保 <input type="checkbox"/> 4. 技術流通対策・知的財産の保護 <input type="checkbox"/> 5. 法制度や会計制度・行政手続き <input type="checkbox"/> 6. 投資費用の調達・資金繰り <input type="checkbox"/> 7. 人材確保・労務管理 <input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> 1. 市場調査、情報収集・提供 <input type="checkbox"/> 2. 海外展示会出展支援 <input type="checkbox"/> 3. 海外バイヤー招聘商談会の開催 <input type="checkbox"/> 4. 国際取引コンサルティング <input type="checkbox"/> 5. 法律・税務コンサルティング <input type="checkbox"/> 6. 補助金や融資制度による初動経費の支援 <input type="checkbox"/> 7. 人材育成の支援 <input type="checkbox"/> 8. その他
<p>↓</p> その他の場合はその内容をご記入ください。	<p>↓</p> その他の場合はその内容をご記入ください。

4 今後、輸入を新規に行う計画がありましたら、その内容について、お答えください。

区分	輸入相手国・地域	輸入品目
①		
②		
③		

※ 相手国を特定していない場合は、地域名(ASEAN、EU、南米など)でご回答ください。

→ シート4へお進みください。

4. 海外進出・展開事業について

※本調査でいう海外進出・展開事業とは、海外に駐在員事務所、支店、100%出資の子会社、合弁会社などの進出拠点を設置して現地で直接事業を行うこと及び外国企業への生産委託、技術供与の提携を行うことを指します。

1 海外進出・展開事業の実績および今後の予定をお答えください。

- 1. 現在、進出・展開している
- 2. 過去進出・展開していたが、撤退した
- 3. 現在は進出・展開していないが、将来(3年以内程度)行いたい
- 4. 実績も計画もない



- 1. を選択 → 2 にお進み下さい。
- 2. または3. を選択 → 3 にお進み下さい。
- 4. を選択 → 次ページにお進み下さい。

2 現在行われている海外進出・展開事業について、主要なものから2つまで、その事業の概要をお答えください。

進出・展開先	国:	都市:	国:	都市:
進出・展開形態	<input type="checkbox"/> 1. 駐在員事務所 <input type="checkbox"/> 2. 100%出資子会社 <input type="checkbox"/> 3. 支店 <input type="checkbox"/> 4. 合弁会社 <input type="checkbox"/> 5. 生産委託 <input type="checkbox"/> 6. 技術供与 <input type="checkbox"/> 7. 販売代理店 <input type="checkbox"/> 8. 営業代行	進出・展開年: 年	<input type="checkbox"/> 1. 駐在員事務所 <input type="checkbox"/> 2. 100%出資子会社 <input type="checkbox"/> 3. 支店 <input type="checkbox"/> 4. 合弁会社 <input type="checkbox"/> 5. 生産委託 <input type="checkbox"/> 6. 技術供与 <input type="checkbox"/> 7. 販売代理店 <input type="checkbox"/> 8. 営業代行	進出・展開年: 年
		県内事業所からの派遣人数: 人		県内事業所からの派遣人数: 人
主な取扱製品・サービス				

3 現在の貴社の海外進出・展開における課題、必要とする支援策について、お答えください。(複数回答可)

感じている課題		必要とする支援策	
<input type="checkbox"/> 1. 品質・納期・コスト等の管理 <input type="checkbox"/> 2. 販路の確保・拡大・マーケティング <input type="checkbox"/> 3. 信頼できる現地パートナーの確保 <input type="checkbox"/> 4. 技術流通対策・知的財産の保護	<input type="checkbox"/> 5. 法制度や会計制度・行政手続き <input type="checkbox"/> 6. 投資費用の調達・資金繰り <input type="checkbox"/> 7. 人材確保・労務管理 <input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> 1. 市場調査、情報収集・提供 <input type="checkbox"/> 2. 海外展示会出展支援 <input type="checkbox"/> 3. 海外バイヤー招聘商談会の開催 <input type="checkbox"/> 4. 国際取引コンサルティング	<input type="checkbox"/> 5. 法律・税務コンサルティング <input type="checkbox"/> 6. 補助金や融資制度による初動経費の支援 <input type="checkbox"/> 7. 人材育成の支援 <input type="checkbox"/> 8. その他
↓ その他の場合はその内容をご記入ください。		↓ その他の場合はその内容をご記入ください。	

4 今後、海外進出・展開事業を新規に行う計画がありましたら、その内容について、お答えください。

進出・展開予定相手国	国:	都市:	国:	都市:
進出・展開形態(予定)	<input type="checkbox"/> 1. 駐在員事務所 <input type="checkbox"/> 4. 合弁会社 <input type="checkbox"/> 7. 販売代理店	<input type="checkbox"/> 2. 100%出資子会社 <input type="checkbox"/> 5. 生産委託 <input type="checkbox"/> 8. 営業代行	<input type="checkbox"/> 3. 支店 <input type="checkbox"/> 6. 技術供与	<input type="checkbox"/> 1. 駐在員事務所 <input type="checkbox"/> 4. 合弁会社 <input type="checkbox"/> 7. 販売代理店

※ 相手国を特定していない場合は、地域名(ASEAN、EU、南米など)でご回答ください。

→ シート5へお進みください。

5. 新型コロナウイルス、貴社のオンラインによる海外展開手法について

1 新型コロナウイルスの感染拡大で、貴社の海外展開に影響はありましたか。

1. あった → 以下の中から該当するものをチェックし、内容を記載ください。

1. 良い影響 → どのような影響があったか記載下さい。

2. 悪い影響 → ()

2. 特になし

2 1 で悪い影響があったと回答された方にお尋ねします。どのような対応策をとられたかお答えください。(複数回答可)

1. 販路を見直した 2. 生産拠点を見直した 3. 調達先を見直した 4. 物流ルートを見直した 5. デジタル化を進めた

6. 越境ECに取り組んだ 7. 労働環境・条件を見直した 8. その他()

3 貴社のオンラインによる海外展開手法についてお答えください

1. している → 以下の中から該当するものをチェックして下さい。(複数回答可)

1. ECサイトを用いた販売(越境EC含む) 2. WEB商談・会議 3. オンラインカタログの使用 4. 会社・商品説明に動画を活用

5. 翻訳など自社サイトの再構築 6. その他()

2. 特にしていない → 理由を以下に記載下さい。

()

4 現在オンライン展開しているまたは、展開を希望する国・地域についてお答えください。(複数回答可)

1. 中国 2. 台湾 3. 韓国 4. タイ 5. シンガポール 6. ベトナム 7. インド

8. カナダ 9. アメリカ 10. イギリス 11. ドイツ 12. フランス 13. イタリア 14. ロシア

15. その他

5 貴社がオンライン展開を進めるための課題・必要な支援策をお答えください。(複数回答可)

1. オンラインに関する知識 2. オンライン展開手法の情報 3. デジタル化を進めるための資金 4. ネット環境の整ったインフラ

5. 商談機会 6. 人材育成 7. 専門家 8. 商品開発

9. その他()

6. 海外展開に関する利用支援機関について

1 貴社の海外展開で、利用している支援機関をチェックして下さい。(複数回答可)

1. とっとり国際ビジネスセンター(境港市) 2. JETRO(日本貿易振興機構)鳥取貿易情報センター(鳥取市) 3. 境港貿易振興会(境港市)

4. 鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター(ロシア連邦 ウラジオストク) 5. 鳥取県東南アジアビューロー(タイ王国 バンコク)

6. 取引金融機関 7. 商工団体 8. JICA(国際協力機構) 9. 中小企業基盤整備機構

10. その他 ()

→ 以上で、終了です。
7月16日(金)までに提出をお願いします。